インフォメーションネットワークグループ機関誌［イング］

ING

Information Network Group 2019

vol.20
Autumn / Winter

リーダーの肖像

日本の明日のために、万機公論に決すべし。

衆議院議員 元防衛大臣
中谷 元 氏

Persistence and time are the friends of progress
Informed decisions will reveal the correct path

【 根気と時間は進歩の友　情報に基づいた決定は正しい道を照らす 】

輝き Interview

「声」を通じて、人に寄り添いたい。
朝日放送テレビ アナウンサー **澤田 有也佳** 氏

Pick Up Interview

世代や国境を超えてみんな笑顔の晴れのまち（焼津）へ。
静岡県焼津市長 **中野 弘道** 氏

防災-ing

中小企業の皆様、防災･減災対策を始めましょう！
中小企業庁 企画課 経営安定対策室

インフォメーションネットワークグループ機関誌
ING［イング］2019 vol. 20
Autumn / Winter

Contents

02 リーダーの肖像
衆議院議員 元防衛大臣 中谷 元氏
日本の明日のために、万機公論に決すべし。

08 輝き Interview
朝日放送テレビ アナウンサー 澤田 有也佳氏
「声」を通じて、人に寄り添いたい。

12 Health Information
昭和大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門 講師
河村 光晴氏 心筋梗塞とはどんな病気?

16 HOT BREAK
霞ヶ関カンツリー倶楽部 理事 広報委員長 越 正夫氏
良き友と心からゴルフを楽しむ
「グッドフェローシップ」を誇りとして

18 Pick Up Interview
静岡県焼津市長 中野 弘道氏
世代や国境を超えてみんな 笑顔の晴れのまち(焼津)へ。

24 防災-ing
中小企業の皆様、防災・減災対策を始めましょう! 中小企業庁 企画課 経営安定対策室

28 企業探訪 株式会社 日本フードエコロジーセンター
代表取締役(獣医師) 髙橋 巧一氏
『食品ロス』という社会課題解決とビジネスを両立し、「もったいない」の先へ

30 国際事件記者の目
ジャーナリスト 中島 健一郎氏
金大中さんなら今の日韓関係をなんと思うだろうか

32 SCOOP
ベトナムのHUNG VUONG社と コノミティが「医療ツーリズム」提携調印式
株式会社 コノミティ 海外事業部

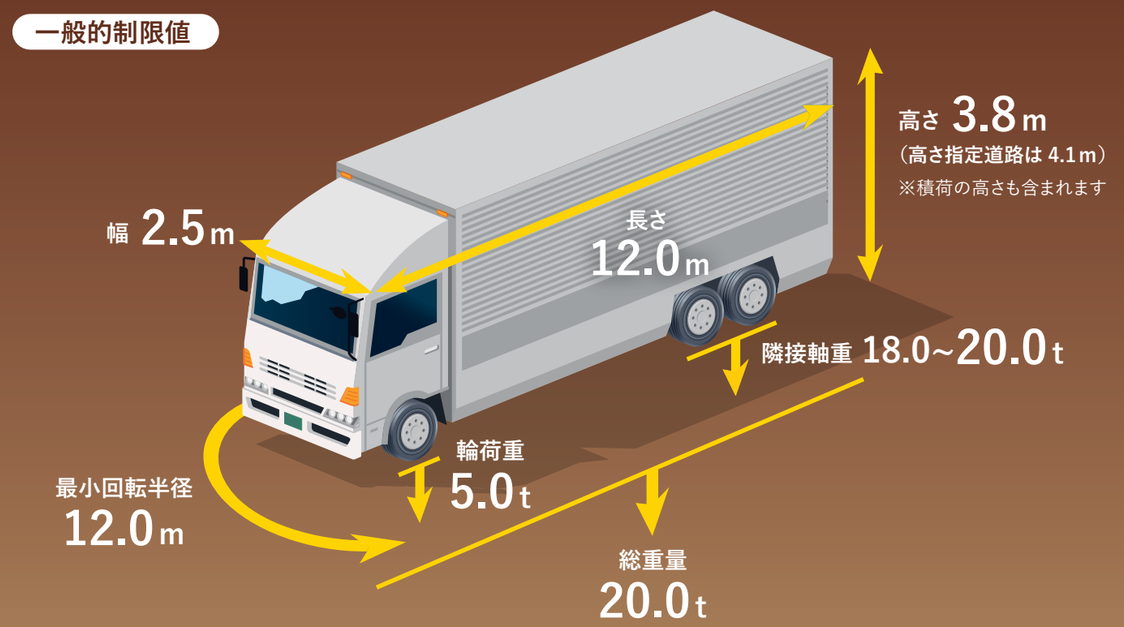
他:組合広告
表4:テーラーメイド ゴルフ株式会社

ING 2019年 vol. 20 発行:一般社団法人国際情報普及協会 〒105-0004 東京都港区新橋5-12-1 露月町ビル4階 TEL:03-3434-6203
編集長:小松 宣俊 製作・編集部:岩崎 亮太郎・吉田 安希 デザイン:株式会社プランニング・ロケッツ 表紙の英文と訳:本山 清治 印刷:株式会社ダイム 定価:300円(税別)
※本紙の掲載記事の無断転載を禁じます。 ※掲載内容・広告のお問い合わせは、編集部まで

車両制限令を守りましょう!!

道路は、一定の構造基準によって作られており、構造の保全、交通の危険防止のため、通行する車両の大きさや重さの最高限度(一般的制限値)が定められています。
「**車両制限令違反**」とは、車両全体の重量が一般的制限値又は許可された限度値を超過することをいいます。

一般的制限値



もし車両制限令に違反してしまったら…

車両制限令に違反をした場合、道路管理会社から「措置命令書」もしくは「指導警告書」が、運転手へ交付されます。交付された場合は、速やかに会社へ報告して下さい。報告をしないままにしておくと、点数が累積され、会社の方へ「ペナルティ(割引停止等)」が発生する可能性があります。

会社へ報告する

会社が組合へ報告し、適切な処置方法を検討

会社へ報告しない

累積点数が増え、
会社の方へ
ペナルティが発生

日本の明日のために、万機公論に決すべし。

「令和」を迎えて半年余り。新元号に託された、うるわしい平和の時代を願うという思いとは裏腹に、改元以降、わが国では韓国との関係悪化などにより騒がしい雰囲気が続いています。かつて自衛官として国防の一翼を担い、防衛大臣として安全保障と向き合ってきた中谷衆議院議員に、混迷を深める日韓関係の行方や日本の安全保障政策などについて伺いました。

※インタビュー内容は2019年9月10日時点のものです。

衆議院議員 元防衛大臣
中谷 元（なかたに げん）氏
https://nakatanigen.jp/

【プロフィール】
1957年高知県生まれ
経歴：防衛大臣、党 安全保障法制整備推進本部長、党 選挙対策委員長代理、党 特命担当副幹事長、党 情報調査局長、郵政政務次官、自治総括政務次官、国務大臣 防衛庁長官

［聞き手］本誌編集長 小松 宣俊

徴用工問題は解決済み

―昨今の日本と韓国との関係は、徴用工訴訟やGSOMIA（軍事情報包括保護協定）破棄などまさに難問続きです。まず、徴用工の問題について中谷議員の考えをお聞かせください。

中谷　日韓両国が1965年に締結した、日韓請求権協定という条約で決められた約束が一方的に破られようとしている、と考えています。当時、請求権について互いの国から個人の権利を含めて数々の要求が出され、それらに関する話し合いがなされました。その中には徴用工の賃金に関する話もあり、韓国側はこれらの請求権についてはすべて日本からの合計5億ドルという経済支援により解決し、これ以降は新たな請求権は発生しないという最終的な見解を示しているのです。事実、これまで徴用工の賃金を含めて韓国側からわが国に対する請求はありませんでしたが、文在寅（ムン・ジェイン）政権下の韓国最高裁による判決によってこの問題が蒸し返されたわけです。しかし、わが国としては徴用工をはじめとする請求権の問題は両国の話し合いにより、すでに解決したものという姿勢を堅持しています。

―文大統領といえば徴用工の問題などにからめ、日本に対して「盗人猛々しい」という発言もありました。このような日本と韓国をめぐる状況について、与党である自民党はどのような見解を持っているのですか。

中谷　条約とは国と国同士が話し合いをして、その内容を紙に残し、そこに互いにサインをするという国同士の契約のようなものです。請求権の解決は両者の合意に基づいて交わされた約束なので、わが国にまったく瑕疵（かし）はなく、そのため韓国に対して何ら譲歩する必要はないというのが自民党の見解です。また、このことを正規の場においても堂々と主張すべきという意見で党内が一致しており、政府も韓国に対して毅然とした態度を取り続けています。韓国の歴代政権も徴用工をはじめとする請求権の問題はすでに解決済みという見解を示しているので、日本側が新たにお金を支払う理由や根拠はまったくないということです。

「反日」目的の協定破棄

―次にGSOMIAの破棄問題について伺います。破棄を決めた韓国の狙いはどこにあるのでしょうか。

中谷　これは文大統領による国内問題対策だと思っています。日本でも大きな話題になりましたが、文大統領の最側近である法相候補にまつわるさまざまなスキャンダルから国民の目をそらすために、安易に「反日」を利用したのでしょう。

―中谷議員は防衛大臣のとき、韓国とのGSOMIAの成立に尽力されたと聞いています。今回、韓国がその破棄を決定したという報せを聞いたとき、どのように思われましたか。

中谷　GSOMIAの根幹である安全保障は、国家の存立と国民の生活や財産を守るために、その国にとって最も重要なことです。また昨今の東アジアの状況を見回すと、安全保障に関する日米間の協力が不可欠であることは政治家であれば分かりきったことです。GSOMIAの破棄により手を叩いて喜ぶのは北朝鮮、中国、ロシアであり、それにもかかわらず自国はもとより東アジア全体の安全保障を揺るがす決定を安易に下すのは、一国の指導者としていかがなものかと思います。当然、日本政府は今回の韓国の措置をあり得ないこと、という見解を示しています。韓国の安全保障の関係者も一様に、自国政府の決定に非常に驚いていました。アメリカもGSOMIA破棄の報せを受け、直ちに強い「失望」と「懸念」を表明して韓国側に措置の撤回を要求しています。GSOMIAは今年の11月22日まで有効なので、それまでに韓国が自らの過ちに気付き、破棄を撤回するのが最も賢明な選択だと考えています。

―もし、韓国が今回の決定を覆さないとなるとどうなるのでしょうか。

中谷　日本はアメリカと同様の協定を結んでおり、朝鮮半島に関する情報はアメリカを経由して入ってくるため、自衛隊にとってはそんなに大きな問題や損失はないと考えています。

―そもそもGSOMIAとはどういうものなのでしょうか。

中谷　簡単にいうと両国の信頼関係に基づいて、他人に聞かれては困る情報を互いに提供し合い、共有するための協定です。日本を例にいうと、万一自衛隊が行動するとなるとさまざまな情報に基づいてその判断を下す必要があり、それら貴重な情報を得るためには他国の協力を要する場合があります。情報を提供する側からすると、相手が信頼に値しなければ貴重な情報を渡すわけにはいきません。もし漏洩されると自国の安全保障のみならず、国際協調に悪影響を及ぼすおそれがありますからね。そういった意味で、GSOMIAは両国が信頼関係にあるということの象徴なのです。

哨戒機「P－1」出典：海上自衛隊ホームページ
（https://www.mod.go.jp/msdf/equipment/aircraft/patrol/p-1/）

―もう一つ、非常に大きな問題であるレーダー照射事件は決着がついたのでしょうか。

中谷　いいえ、ついていません。わが国はレーダー照射を受けた証拠をきちんと提示したのに、韓国側がそれに対して何もいわず、事実ではない反論動画を世界に向けて公開しました。この事件についてはこれ以上何をいっても平行線になるだけなので、そのままにしてあるというのが現状です。

韓国の「良識派」に期待

―今後、日韓関係はどうなっていくとお考えですか。

中谷　数ヶ月後には今より良くなっている、とは思っていません。なぜなら韓国は来年の春に総選挙を控えており、文大統領が自らの支持基盤を固めるためにさらなる反日カードを切ってくる可能性があるからです。

―では静観、つまり静かで丁寧な無視をすべきだと。

中谷　どんな形にせよ、両国間で話し合いが再開されるのはいいことだと考えています。もっとも徴用工やレーダー照射などの問題に関するわが国の立場に変わりはないので、その柱となる証拠と論理をしっかりと主張して、それを韓国側に理解してもらうことが対話の基本と考えています。

―それは可能でしょうか。

中谷　韓国の閣僚や国会議員の中には、日本との緊密な協力関係が不可欠と考える「良識派」の方がたくさんいらっしゃり、そういった方たちの理解を得ることは可能かと思います。例えば、現在韓国で首相を務めている李洛淵（イ・ナギョン）さんはそのお一人であり、実際に李首相をパイプ役とした話し合いが水面下で行われていると聞いています。また、日韓議員連盟の議員たちからの働きかけを通じて良識派の声を強くし、反日に大きく傾いた韓国内の世論を変えることも決して不可能ではないと思います。

―中谷議員は、日韓関係を修復するためには何をすべきとお考えですか。

中谷　お互いに、あせらず、いばらず、売り・買い言葉になることなく、遠望を心掛けて大局を見ながら話し合い、きちんとした落としどころを模索することではないかと考えています。そうすれば双方が理解し合い、共感を得られるときが戻ってくるのではないでしょうか。

―なるほど、日韓関係においても「あいうえお」が大事ということですね。ところで中谷議員は防衛大学校時代にラグビー部に所属され、現在も国会議員のラグビー部の会長を務められるほどのラグビー通ですが、9月に日本で開催される「国際防衛ラグビー競技会 2019」に韓国軍のチームを招聘（しょうへい）されたそうですね。

中谷　はい。これはラグビーを通じた交流により自衛隊や各国の軍が相互理解を深めるために、2011年からワールドカップの年に行われているもので、3回目となる今年日本で初めて開催されます。ホスト国の自衛隊のほかは主にワールドカップに出場する国の軍が参加しますが、韓国軍に声を掛けると快く出場を承諾してくれたのです。一連のやりとりを通じてあらためて感じたのは、自衛官も韓国の軍人も基本的に仲が良く、自国はもとより互いの国の安全を思い合っているということです。日米韓の緊密な協力を通じた東アジアの安全保障維持のためにも、このような心のつながりを大切にしていきたいと思います。

ラグビー「世界国会議員ワールドカップ」に出場する日本国会ラグビークラブ

自分を鍛えるべく防衛大へ

―ここからは中谷議員のこれまでの歩みについて伺います。なぜ防衛大学校に進まれたのですか。

中谷　体力と気力の両面でもっと強く、人間としてもっと大きくならないといけないと思ったからです。防衛大学校の生活は規則ずくめです。朝は6時に起床ラッパの音とともに起き、掃除、食事、身だしなみを短時間で済ませると授業を受け、それが終わるとクラブで汗を流し、夜は自習に励んで10時には消灯しなければなりません。このように非常に規律正しく、厳しい生活に身を投じることで自分を鍛えることができると考えたのです。また、防衛大学校の基本は集団生活であることから、いろいろな人にもまれて成長できるのも魅力的でした。一人でコツコツ努力するより、こちらの方が自分に合っているように思えたのです。

―国を守る仕事をしたい、という思いはあったのですか。

中谷　高校生のころは、そういった思いはまったくなかったですね。お恥ずかしい話ですが当時は警察と自衛隊の違いもよく分かっておらず、ただ国というものがある以上、それは誰かが守らなければならないのだろうなというくらいの気持ちしかありませんでした。ですから国防については、特に強く意識することなく防衛大学校に入学しました。そもそも防衛大学校は幹部自衛官を養成する機関なので、学生の大半は確固たる国防の志を持って入学するのですが、わたしはそうではなかったのです。しかし4年間にさまざまなことを学ぶうちに次第に国防の重要性を意識するようになり、自衛隊の存在意義についても深く考えるようになりました。

中谷防衛大臣の着任 2014年12月25日 於：防衛省
出典：防衛省ホームページ（https://www.mod.go.jp/j/profile/minister/photo/2014/12.html#photo_1225a）

―それで卒業後は自衛官の道に進まれるわけですね。

中谷　はい。もっとも卒業を迎えるころには国防を政治家という立場から考えていきたいと思うようになっていたので、将来の政治活動の糧とするために自衛官の道に進みました。現場の自衛官がどのような状況に置かれ、日々どのような心境で任務に当たっているのかをしっかり理解していないと、政治の場で国防や安全保障、自衛隊について語ることはできないと考えたのです。

―入隊後、第20普通科連隊小銃小隊長に任ぜられますが、これはどんな役割なのですか。

中谷　普通科連隊とは昔でいう歩兵のことで、非常事態に即座に対応することが求められます。例えば、災害時に真っ先に被災地に急行して救援活動を行い、航空機事故が発生した際には捜索救助業務を担当するため、普通科連隊には国土のあらゆる場所でのあらゆる出来事に対応する能力が要求されます。当時のわたしは40人ほどの一個小隊の小隊長、つまり初級幹部として隊員一人ひとりを優秀な人材に育て上げ、より精強な組織をつくりたいという一心で仕事に取り組んでいました。

―政治の世界に入るのはいつですか。

中谷　入隊から6年ほどして、ちょうど中級幹部にステップアップするころでした。高知県の田舎に帰ったとき、父から県の政財界が若い人を求めているのでお前も一つやってみないかといわれ、半年ほど考えた末政治の世界に入ることを決めたのです。

防衛庁長官、そして防衛大臣

―その後3人の国会議員の秘書を歴任され、1990年の第39回衆議院議員総選挙に自民党公認で高知県全県区から出馬され、初当選を果たされます。国会議員になってすぐに国防に関する活動を始められたのでしょうか。

中谷　いいえ。最初は地元が抱えていた課題、特に農林水産業の振興についての活動に軸足を置いていました。ちょうどそのころ、イラクがクウェートに侵攻するという事件が発生します。これは後に湾岸戦争へと拡大するのですが、このころから自衛隊を取り巻く環境が大きく変わり始めたのです。アメリカをはじめとする同盟国が危機を迎えている中、日本は以前のように知らん顔では済まされないという声が国内外で上がり、PKO（国連平和維持活動）などを通じて自衛隊も何らかの形で国際平和に貢献することが強く求められ始めたのです。このような時代の動きの中で、わたしも徐々に国防や安全保障、自衛隊に関する活動に重点を置くようになりました。

―２００１年には歴代最年少で防衛庁長官に就任されました。

中谷　自民党内の国防部会長を務め、衆議院の安全保障委員会で活動した後、43歳のときに第1次小泉内閣の防衛庁長官を拝命しました。わたしは67代目の長官ですが、自衛官出身としては初めての就任でした。

―自衛隊時代に経験されたことが当時の仕事に生かされたということはありますか。

中谷　初級幹部時代、「この国を守りたい」という純粋な志を持って自衛隊に入った部下と多数巡り会いました。ですから、彼らが誇りを持って日本のために活動できるようにすることが自分の任務、という思いは常に持っていましたね。そのころ、世界を震撼させる大事件が起こりました。２００１年の９月11日、アメリカで同時多発テロ事件が発生したのです。

―ニューヨークの２棟からなるワールドトレードセンターに、イスラム過激派テロ組織によってハイジャックされた２機の旅客機がそれぞれ突入した事件をはじめとする同時多発テロですね。

中谷　はい。この大事件をきっかけに、戦争ではなくテロリズムが国の安全を脅かすという考え方が世界の主流となり、それによって国防や自衛隊の国際貢献の目的として対テロ活動も重視されるようになったのです。当時、わたしはテロ対策特別措置法の法案成立に奔走しました。激動する世界情勢において、自衛隊をその変化にどう対応させるべきかという議論を慎重に重ねた末、アメリカなどが主導する対テロ活動を後方支援するための、海上自衛隊の補給艦と護衛艦のインド洋への派遣が法律上可能となったのです。

―有事関連３法、いわゆる有事法制が整備されたのも中谷議員が防衛庁長官のときでした。

中谷　それまでの日本には、他国から武力攻撃を受けるなどの有事の際に自衛隊の行動を規定する法制がありませんでした。しかし、そのままの状態では万一のテロの脅威に対応できないことから有事法制に関する議論が高まり、その整備に向けた動きが本格化したのです。また、災害時に自衛隊が積極的に行動できるように法改正を行ったのもこのころのことです。１９９５年に阪神・淡路大震災が発生したとき、自衛隊が自主的に災害派遣行動をとることはタブーとされていました。もし勝手に出動すると各方面から怒られるという時代だったのです。

―２０１４年に第３次安倍内閣では防衛大臣に任命され、13年ぶりに二度目の入閣を果たされます。

中谷　ちょうど内閣で平和安全法制の成立に向けた準備が進んでいたときです。北朝鮮が核実験やミサイルの発射を繰り返し、中国が軍事拡大を続け、ロシアも力を増している中で自国をいかに守るかということが日本の大きな課題となっていました。わたしたちは単独で自分たちの国を守ることはできず、アメリカとの協力関係が不可欠です。ところがそれまでの協力関係は、日本が危機にさらされたときはアメリカが助けてくれるのに、逆にアメリカが危ないときは日本は何もできないというものでした。しかしこれではおかしい、日本も同盟国に危険が生じたときは助けられるようにしなければならない、ということでわたしは防衛大臣兼安全保障法制担当大臣として、集団的自衛権の行使を可能とする平和安全法制の成立に全力を尽くしました。

―そのころのことで、特に印象に残っていることはありますか。

中谷　自衛隊が創設から60年にわたり国民のために真摯に行動してきたことにより、その存在を違憲と考える人は大きく減ったと感じていました。その一方で、自衛隊そのものを憲法に合わないと主張する人たちがまだ少なからずいました。また、こんにちの世界情勢にかんがみて集団的自衛権の行使範囲をもっと広げるべきではないか、と考える人もたくさんいました。このように人によって異なる意見をできるだけ多く聞くとともに、それぞれ考えの違う人たちに、日本はもとより国際社会の安全保障に資するという法制の意義を理解してもらうのに大変苦労しました。このことが印象に残っていますね。

「あいうえお」と「かきくけこ」

―先ほど「あいうえお」のお話をされましたが、２０１７年６月、安倍首相に「あせらず、いばらず、うかれず、えこひいきをせず、おごらず」という「あいうえお」の五文字を贈られたことが話題となりました。

中谷　国政に携わる者にとって最も大切なのは、国民の信頼だと思っています。謙虚さを忘れると国民の信頼を失ってしまうという思いから、まったく個人的な考えに基づいてあのような発言をしました。何も間違ったことをいったとは思っていませんし、総理にも一つの意見として聞いていただけたのではないかと思っています。

―安倍首相に対しては、「家内のいうことと、厳しい意見、苦情、見解の異なる人、こんな人たちのいうことも聞くべき」という「かきくけこ」のアドバイスも印象的でした。

中谷　基本的には「あいうえお」と同じ考えです。政治家にとって大切なのは、謙虚な気持ちでさまざまな意見を聞くことだという思いを述べました。

―中谷議員の政治的信条は「万機公論に決すべし」だそうですが、これはなぜなのでしょうか。

中谷　国会は国民の代表である国会議員が、国民の意見を持ち込んで議論する場です。その意見は実に多様であり、一見合意点が見えないような議題でも、話し合いを尽くすことで答えを見出せるものです。すべての問題は徹底的に議論しなければならないという気持ちから、「万機公論に決すべし」という考えを自らの政治信条としています。

―尊敬する人は誰ですか。

中谷　郷土の先達である濱口雄幸（おさち）です。濱口は１９２０年代の終わりから始まる世界恐慌の時代に、戦争から平和へ、軍拡より軍縮へ、積極財政から緊縮財政へという自らの信念を貫いた末、東京駅で銃撃されてしまいます。その功績については評価が分かれるところですが、わたしは愚直なまでに己を貫き通した生き方や、自分への批判を率直に受け入れ、自分に不利になることもあえて行った姿勢を同じ政治家として尊敬しています。

―今後の日本のために何をすべきとお考えですか。

中谷　少子高齢化がさらに進むと公費負担がより大きくなります。これは何で賄っているかというと借金であり、このままでいくと子どもや孫の世代に大きなツケを残してしまいます。ですから国民と力を合わせて自助努力の道を探し、借金に頼ることなく持続できる日本にしていかなければならないと考えています。また、今のわが国は先代、先々代の苦労の上に成り立っていること、そして、当たり前と思っていることが実はそうではないということを、わたしも含めて自覚する必要があると考えています。

―最後に中谷議員の座右の銘を教えてください。

中谷　「徳は孤ならず、必ず隣あり」という『論語』の言葉です。徳をつけた人、つまり良い行いをした人は決して孤立することがなく、必ず自分を理解し、援助してくれる人が周りに集まってくるという意味の至言です。いい主人がいるお店には必ずいいお客さんが集まるように、世の中は本当に「徳は孤ならず、必ず隣あり」なのだと思います。わたしも一人の人間として、これからも謙虚さを忘れることなく、一つひとつ徳を積んでいきたいと思っています。

［インタビュー写真］Photographer 長峯 正幸

「声」を通じて、人に寄り添いたい。

Ayaka Sawada

朝日放送テレビ アナウンサー

澤田 有也佳（さわだ あやか）氏

兵庫県西宮市出身　東京大学卒業後、2016年に朝日放送（現 朝日放送テレビ）入社

現在『名医とつながる！ たけしの家庭の医学』（火／午後8時～）、『キャスト-CAST』（月～金／午後3時50分～）、『おはよう朝日です』（月～金／午前6時45分～（木曜担当））などに出演中　好きなものは将棋とアイドル

大阪・朝日放送テレビ制作の全国ネットの人気番組『名医とつながる！ たけしの家庭の医学』に、ビートたけしさんのアシスタントとして出演中の澤田有也佳アナウンサー。地元関西のニュースや情報番組でも活躍する澤田さんに、仕事への思いやアナウンサーになったきっかけについて伺いました。

『名医とつながる！ たけしの家庭の医学』ホームページ
https://www.asahi.co.jp/hospital/

★「おねえちゃん」から「澤田アナ」へ

―『名医とつながる！ たけしの家庭の医学（以下、『家庭の医学』）』でビートたけしさん（以下、たけしさん）のアシスタントを務めるに当たり、何か心掛けていることはありますか？

澤田　番組の収録中、たけしさんはよく台本にないお話をされるんです。わたしはアシスタントとして台本通りに番組を進行する立場にあるので、たけしさんにアドリブを楽しんでいただきつつ、台本の内容に戻ってきてほしいときにはスムーズに戻ってきていただけるようなアシストを心がけています。

―超大物の方との共演ということで、緊張はしませんでしたか？

澤田　入社3年目で番組出演のお話をいただいたとき「たけしさんの隣に立つなんてあり得ない」と思い、緊張というよりどうすればいいのか悩みました。

―2018年の1月から出演を開始されて、今ではすっかりたけしさんと息が合っていますね。

澤田　たけしさんのおかげです。初めてお会いしたとき、「おいらの話に割り込んでいいよ。別に気を遣わなくていいから」といわれ、気持ちが楽になったのをよく覚えています。これは余談ですが、最初たけしさんは目を合わせてくださらず、呼び方も「おねえちゃん」って感じだったんです（笑）。それが「アナウンサーのおねえちゃん」になり、4回目くらいの収録でようやく「澤田アナ」と呼んでくださるようになりました。

―番組を見ていて、たけしさんはよく勉強されているなという印象を受けます。

澤田　医学からAIをはじめとする情報工学までさまざまな分野に造詣が深い方です。また自分で考えることを大切にされていて、番組収録中も「この病気の原因はあれじゃねえか？ いや、この場合ならあれかも知んねえな」と、いつも自問自答をされているんです。何に対しても興味を持ち、その原因を追求しようとする姿勢に触れるたびに、自分ももっと問題意識を持って仕事に取り組まなければならないと思わされます。

★家族や友人と一緒に見てほしい

―『家庭の医学』は元気で長生きするために「健康寿命」を延ばすことをテーマとした情報バラエティです。「健康寿命」の延伸は日本の重要施策の一つですが、「この番組をこう見たらもっと役に立つ」といったアドバイスはありますか？

澤田　家族やお友だちなど、多くの方と一緒にご覧になることをお薦めします。番組ではクイズなどを通して現在の健康状態を振り返る機会を提供していますが、一人ではなかなか気付かないことがあると思うんです。でも、みんなで見ていると「あなた、この間似たようなことがあったじゃない？」とか「キミ、これに当てはまるんちゃうか？」といったように、お互いに気付きの可能性が高くなります。だから、できるだけ多くの人とワイワイ楽しみながらご覧いただきたいですね。

―実際に「この番組を見て役に立った」といわれることはありますか？

澤田　祖母に「テレビでやってた体操を試してるんや。なんか調子ええわ」といわれたりすることがあります。また、わたしからも「紫色の野菜がガンの予防とかにええらしいで」とか、番組から得たさまざまなお役立ち情報を家族に伝えて、いつも喜んでもらっています。

―ほかの視聴者の方も、お祖母さまと同じかもしれませんね。

澤田　そうだといいのですが。この番組に出演していて感じるやりがいの一つが、微力ながらも視聴者の方の暮らしを豊かにするお手伝いができるということです。トップクラスの「名医」の方のお話を軸として、病気の予防方法といった、いつまでも生き生きと暮らすためのヒントを楽しく、分かりやすく提供するのがこの番組の役目だと考えています。そういった意味で、今後もこの番組に対する期待はもっと大きくなると思います。

©ABCテレビ

★自分を変えるためにミスコンに

―どうしてアナウンサーになろうと思ったのですか?

澤田 きっかけは、大学2年のときにミスコンに応募したことです。かつてのわたしは人見知りで、コミュニケーション能力にあまり自信がありませんでした。将来を考えたとき、このままではいけないと思ってショック療法的にミスコンに応募したんです。運良く入賞し、それから就活までの間芸能事務所に所属してテレビなどに出演するようになり、そこでアナウンサーという仕事と出会いました。

―なぜアナウンサーに魅力を感じたのですか?

澤田 「声」を使った仕事をしたいと思ったんです。振り返ってみると、小学生のころからテレビのナレーションや洋画の吹き替えに関心があり、ラジオも大好きでした。でも「声」一つで生きていく自信はないし、いつしか興味もなくしていたのですが、テレビ局のアナウンサーなら会社員として「声」を使った仕事ができると思い、アナウンサーの採用試験を受けました。

―アナウンサーの採用試験は大変な難関と思いますが、合格されたときのお気持ちは?

澤田 電話で合格を知らされたのですが、間違い電話かと思いました(笑)。というのはろくに試験対策をせず、カメラテストも地味なスーツを着て受けるなど、アナウンサー志望生としての自覚がまったくなかったんです。合格する可能性はゼロに近いと思っていたので。

―入社4年目ですが、『家庭の医学』のほかにもさまざまな番組に出演されています。

澤田 はい。主に関西ローカルの番組ですが、テレビではニュース、朝の情報ワイド、サッカーなどのスポーツ、ラジオでは深夜番組を担当するなどさまざまな出演機会をいただいています。『家庭の医学』のように臨機応変さが求められるバラエティ、決まった原稿を読むニュース、フリートークを任されるラジオにはそれぞれ異なる楽しさがあり、難しさもあります。といっても得意や不得意を意識するのではなく、自分の可能性を広げる意味で今後もいろんな分野の番組にチャレンジしたいですね。

―アナウンサーになってよかったと思うことは?

澤田 一日として同じ日はないということです。仕事を通してさまざまな出会いや経験をすることができ、毎日がとても刺激的です。

―逆に困ったと思うことはありますか?

澤田 プライベートなことですが、休みが不定期なため学生時代の友人となかなか会えないのが悩みですね。

★アナウンス部ではいつも聞き役

―自分はどんな性格だと思いますか?

澤田 のんびりしていると思います。だから普段話すスピードが遅いんです。アナウンス部の先輩や同僚には「何かを話したくてたまらない」という方が多いので、いつも聞き役に徹しています。皆さんのスピードにとてもついていけなくて(笑)。

―「こんなアナウンサーになりたい」という理想像は?

澤田 視聴者の方やラジオを聴いている方に寄り添うようなアナウンサーになりたいですね。言葉一つとっても、「ほかの言葉に置き換えたほうが分かりやすいかも」とか「もうちょっと噛み砕いて伝えた方がいいかな」といったように、常に相手の立場になって物事を考え、伝えるべきことを的確な言葉で伝えていきたいと思います。また、出演者の方から頼られる存在になりたいですね。『家庭の医学』にご出演くださるお医者さまには、お話が得意でない方もいらっしゃいます。そういった方にも「この人とは安心して話せる」と思っていただけるアナウンサーになりたいですし、そのためには頭の引き出しをもっと充実させる必要があると考えています。

―最後に座右の銘を教えてください。

澤田 母が昔からよくいっていた言葉で「しあわせはいつもじぶんのこころがきめる」です。例えば何か辛いことがあったとして、心の持ち方次第でそれを福に転じることができると思うんです。ただ辛いと思えばそれまでですが、その辛さには何か意味があると考えれば、それを糧として心豊かに生きるための力や知恵をはぐくむことができる。このように信じて、これからもアナウンサーの仕事に邁進していきたいと思います。

名医とつながる! たけしの家庭の医学

「名医」の話をじっくり引き出し、健康寿命を延ばす新事実をいち早く紹介。

2017年7月に放送を開始した『名医とつながる! たけしの家庭の医学』は、健康寿命の延伸に焦点を当てた情報バラエティです。日本では平均寿命が伸び続ける一方、心身ともに自立して暮らせる期間の健康寿命はそんなに伸びていません。この現状を少しでも変えていきたいという思いから、番組では元気で長生きするために欠かせない、病気の予防や早期発見につながる最新情報の提供に努めています。

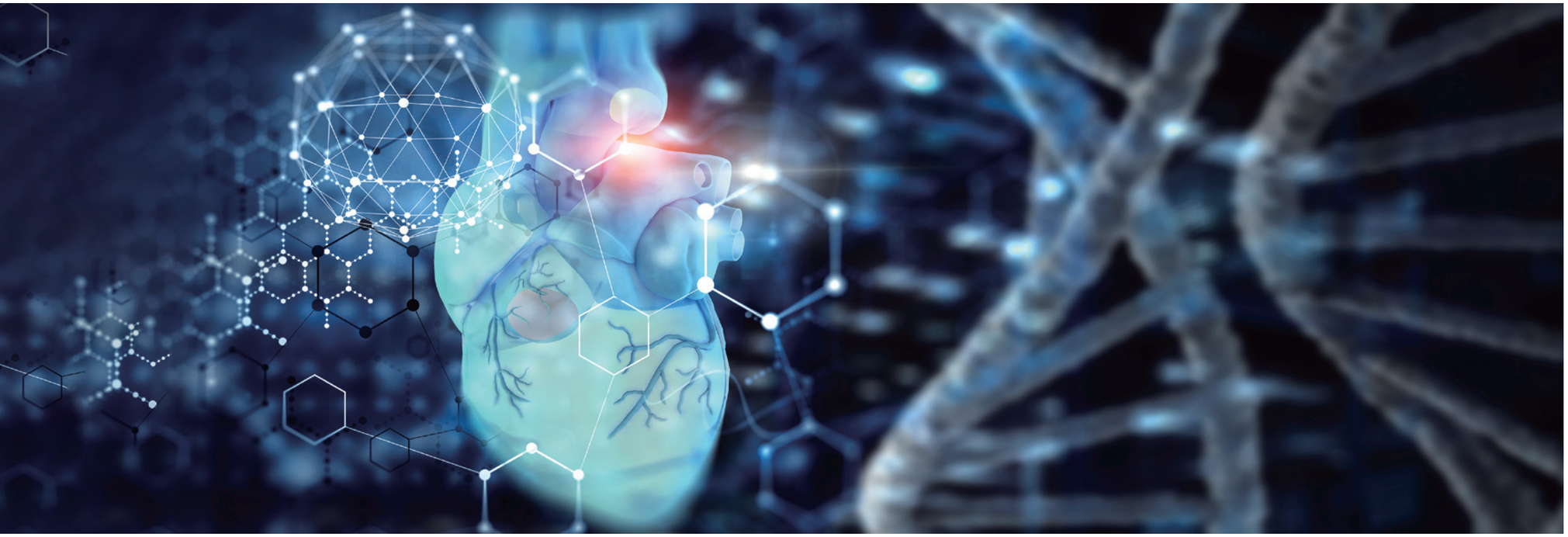
情報の信頼性を第一に考え、番組では斯界を代表する「名医」をテーマ毎にお一方だけ招いて、その見解をしっかりお聞きするというスタイルにこだわっています。芸術から理系の話まで、幅広く豊富な知識をお持ちで、お医者さまの言葉を上手にしかも面白く引き出すたけしさんは、まさに理想の聞き手です。たけしさんは楽屋で時間があると数学を嗜まれるなど、その旺盛な知識欲にいつも驚かされます。

番組で紹介した食品が翌日、売り切れ続出という話を聞くと身の引き締まる思いがします。この番組のルーツは2004年、他に先駆けてスタートした医療バラエティ『最終警告! たけしの本当は怖い家庭の医学』です。それから十数年にわたり、たけしさんをはじめ多くの方が築いてきた信頼をさらに強固なものとするために、これからも確かな番組づくりに取り組んでいきます。

『名医とつながる! たけしの家庭の医学』プロデューサー
芝聡(しば さとし)氏

[インタビュー写真] Photographer 長峯 正幸

心筋梗塞とは どんな病気？



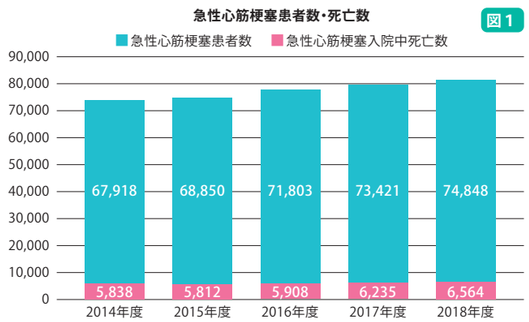
昭和大学医学部 内科学講座
循環器内科学部門 講師、
診療科長補佐、セーフティマネージャー

河村 光晴（かわむら みつはる）氏

経歴
1995年 昭和大学医学部卒業
1997年 山梨赤十字病院 循環器内科 勤務
2000年 昭和大学循環器内科 助教
2009年 Good Samaritan Hospital（USA）に Mirowski Fellowship（留学）
2011年 高津中央病院 内科部長
2012年 University of California, San Francisco. Assistant Professor（留学）
2014年 昭和大学内科学講座循環器内科学部門 講師
2017年 上條奨学賞受賞

心筋梗塞は、心臓への血流が減少もしくは途絶されることにより、心臓の筋肉が壊死をおこした状態である。壊死した筋肉が広範囲になればなるほど心臓の機能に与える影響が大きくなる。動脈硬化と大きく関与しており、生活習慣病の一つとも言われている。心筋梗塞を含む心疾患は、悪性腫瘍（がん）、脳卒中と並び日本における三大死因の一つである。厚生労働省が発表した2017（平成29）年の人口動態統計によると、心疾患（高血圧性を除く）による死亡者は20万4，837人で、全死亡者の15．3％であり、これは悪性腫瘍に続く第2位になる。心疾患全体の約2割を急性心筋梗塞は占めると言われている。

さらには日本循環器学会の循環器疾患診療実態調査によると急性心筋梗塞の入院中に8．8％が死亡する（図1）。これらの数字から、いかに多くの人たちが心筋梗塞で亡くなっており、重要な病気であることがわかる。

図1


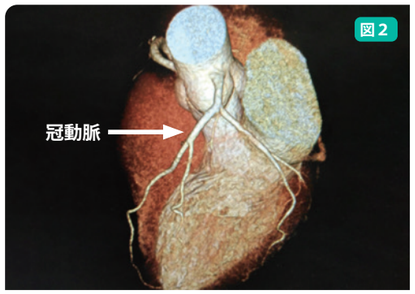
自覚症状

心筋梗塞は突然の左胸痛から始まることが多いですが、実際には痛いというよりは「胸が締めつけられる」、「圧迫感がある」と感じる方が多いとされている。左頚部の痛みや歯の痛み、左上肢の痛みまたは上腹部の痛みを認めることもあり、胃痛や虫歯と間違えられることもある。また、糖尿病のある方だと痛みの自覚症状が乏しいこともあるため注意が必要である。

心筋梗塞はいかに早く治療できるかが重要であり、早ければ早いほど心臓へのダメージ軽減が期待できる。心筋梗塞には、発症後経過した時間によって、急性心筋梗塞（発症して72時間以内）、亜急性心筋梗塞（72時間から1カ月）、陳旧性心筋梗塞（1カ月以上）があります。急性心筋梗塞では、心室細動という危険な不整脈を合併しやすく、そうなると、素早い適切な治療を行わないと、亡くなる可能性が高く心筋梗塞発症後、1時間以内に多いと言われている。

大事なポイント 心筋梗塞の前兆である狭心症に注意

心筋梗塞では、前兆がある場合とない場合がある。約半数の人は前兆がないとも言われている。前兆がある場合、5～10分程度継続して同様の症状を数回繰り返し、その後に大きく激しい症状に襲われるというパターンが多くみられます。心筋梗塞の前段階を狭心症と呼びます。狭心症は心臓の血管が細くなっているが、血流があり心臓の筋肉が壊死していない状態である。この症状が頻回となり、強くなった場合は狭心症から心筋梗塞に移行している可能性があり早めに専門医を受診した方が良い。狭心症の診断に有用なのが心臓（冠動脈）CTである（図2）。矢印は冠動脈を示しており、正常の冠動脈CTである。

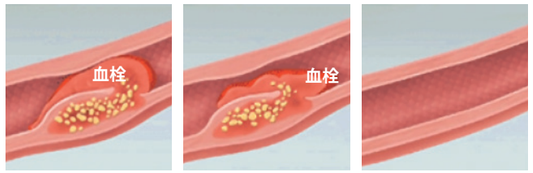
図2


心臓（冠動脈）CT

原因

心筋梗塞が起こる原因として、心臓の血管（冠動脈）が動脈硬化により閉塞することや冠動脈が痙攣して起こることが考えられます。動脈硬化の原因としては高血圧、糖尿病、脂質異常症や喫煙により起こる。動脈硬化により、血管の壁が硬くなり、傷つき、そこに血液中の「悪玉（ＬＤＬ）コレステロール」と呼ばれる脂質が血管壁の内側に入り込み、血管壁は膨れていき徐々に大きくなって破裂すると、そこに急速に血の塊（血栓）ができ、血管を閉塞して血液を途絶してしまうのが原因である（図３）。その他の要因としては肥満、高尿酸血症、ストレス、家族歴などがある。

図３ 血管の断面図



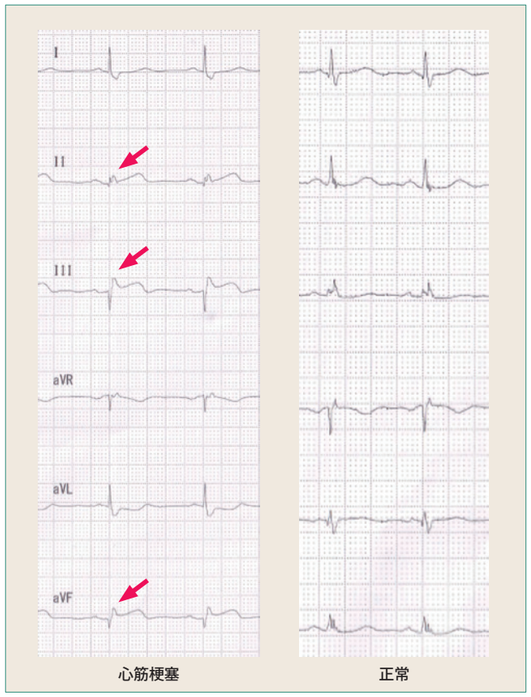
心筋梗塞　狭心症　正常な血管

検査・診断

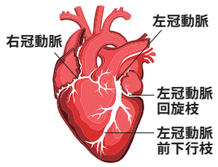
急性心筋梗塞を疑った場合、心電図検査が大事である。胸痛と心電図所見で診断できることも多い。心電図検査では、心筋への血液状況が確認できるため心筋が壊死している部分の推定が可能になります。さらに、心電図の検査後すぐに結果も出るため、診断が早く治療までの時間が重要な心筋梗塞ではとても大切な検査であるといえます。（図４）に正常心電図と心筋梗塞時の心電図を示していますが、心筋梗塞時、心電図が変化しているのがわかる。

その他の検査では血液検査、心臓超音波検査があります。血液検査では心臓筋肉から放出される物質が（心筋逸脱酵素）上昇する。検査の結果を踏まえて、すぐに冠動脈造影検査へとつなげます。冠動脈造影検査では、冠動脈に造影剤を注入して冠動脈のどの部位が詰まっているかＸ線透視撮影を行い、狭窄（きょうさく）や閉塞の箇所を調べ、さらにはその程度も確認できます。冠動脈は大きく分けて３本あり、左側に２本、右側に１本あります。どの部分が閉塞・狭窄しているかを確認するのはとても重要であります。

図４ 心電図検査



心筋梗塞　正常



治療

心筋梗塞の治療で重要なのは、いかに早く治療するかである。早く血流を再開すれば、心臓の機能に与える影響は少なくなるためである。基本的な治療は３種類あり、カテーテル治療、薬物療法と外科的に行うバイパス手術である。発症早期（12～24時間以内）であれば、カテーテル治療が第一選択になる。閉塞している血管に細いワイヤーを通過させて、バルーン付きのカテーテルを挿入し、閉塞部位にバルーンを持って行きそこで拡張することにより血流が再開する。バルーンだけの治療だと再び細くなる可能性があるため、拡張した部位にステントを留置することが多く、それにより再狭窄は10％以下になる。（図５Ａ）に心筋梗塞時の心臓カテーテル検査を示す。矢印の部位で血管が完全に途絶しているのがわかる。（図５Ｂ）でバルーン治療及びステント留置をしており、（図５Ｃ）では途絶していた血管が開通したのがわかる。

発症早期であっても、専門医がいない場合は、カテーテル治療が施行できないので薬物療法療法（血栓融解療法）を行う場合がある。点滴や静脈注射で薬物を投与し血栓を溶かす治療法です。カテーテル治療のための設備が整っていない施設でも実施できますが、出血や危険な不整脈さらには再狭窄のリスクがあることから、原則的にカテーテル治療が困難な場合の処置として考えられている。専門医や設備が整っていない場合はできる限り、専門医のいる施設にすぐに転院したほうが良いと考える。

外科的なバイパス手術は心筋梗塞の急性期で行うことは日本ではほとんどなく、３本の冠動脈がすべて狭窄している場合や左側の２本の血管が合流する太い血管が狭窄しているときに行う。（図４）に冠動脈造影検査を示す。左側は血管が完全閉塞しているが、右側では、そこの部位に対してバルーン及びステント治療した後には血流が再開しているのがわかる。その後も治療は続き、再発を防ぐため抗血小板療法（血液をサラサラにする治療）が必要になります。

図５ 心臓カテーテル検査

Ａ：治療前　Ｂ：治療中　Ｃ：治療後

合併症の治療

1 心不全

心筋梗塞の範囲が広いと、心機能が低下して心不全になることがある。薬物療法での治療と並行して重要なのが心臓リハビリテーションである。心臓リハビリテーションとは、患者さんの心機能を高めるために、生活習慣の改善、運動の指導、安全管理、心臓の負担がかかるリスク管理、精神面のケアなどを総合的に行うプログラムです。この心臓リハビリテーションを行うにあたり、医師や理学療法士、看護師、薬剤師、臨床心理士など多職種が連携して、個々の状態や回復度に応じたリハビリテーションを決定します。重症心不全の場合は両心室ペースメーカー治療が有効なこともある。

2 危険な不整脈

心筋梗塞後には心室細動や心室頻拍を認めることがある。これらの不整脈は突然死のリスクがあり、心機能の低下している人に対しては突然死予防のために、植込み型除細動器というペースメーカーを植え込む。この機械は危険な不整脈が出現したときに電気ショックをかけて止める機械である。そのほかにはカテーテル治療（アブレーション）で治療することもある。

退院後の治療・管理

心筋梗塞の再発予防には大切なのはその原因である、高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙などをしっかり治療・管理することである。それには薬物療法、食事療法、運動療法が中心になる。

食事療法

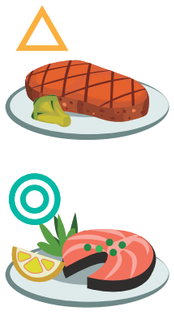
1 塩分制限

塩分は血圧を上昇させるため、一日摂取量は６グラム以下にするのが理想である。

ラーメンやうどん、そばなどの麺類の汁は、塩分がたくさん入っているため、残すように努力しましょう。

2 動物性脂肪の制限

肉や乳製品などの動物性脂肪をとりすぎないように気をつける。さらに、たんぱく質を摂取するときには肉類より魚類するよう努力しましょう。



3 ビタミンやミネラルの摂取

野菜類、海藻類、大豆製品などは、体に大切なミネラルやビタミンが多く含まれているため心がけて食べるようにしましょう。

4 食物繊維の摂取

食物繊維は血管の炎症を抑える働きが有り、心筋梗塞の再発予防に効果があるといわれている。食物繊維が豊富なのは、コンニャク、ゴボウなどの根菜類、ヒジキや昆布などの海藻類、サツマイモやサトイモなどのイモ類、キノコ類などです。

食事療法で大事なのはバランス良くタンパク質、脂質、糖質、ビタミン、ミネラル、食物繊維を摂取することである。三食を規則正しくとることで有り、間食や夜中の暴飲暴食は控えるのも大切である。そのためには外食を減らすのも大切である。

心筋梗塞について、原因、診断治療、その後の管理についてお話ししてきましたが、特に大事なのは心筋梗塞を起こさないように気をつけることです。予防医学が大切で有り、日頃の食生活や適度な運動、ストレスを減らすことと、年に１～２回の健康診断が大切になります。

東9番 521Y、Par 4、距離も長くグリーン手前に深いバンカーもあり、挑戦しがいのあるホール

西13番 513Y、Par 5、設計家井上誠一氏の傑作ホールの一つ

HOT BREAK *Interview*

東京オリンピックで新たな歴史を刻む、
「霞ヶ関カンツリー倶楽部」を訪ねる

良き友と心からゴルフを楽しむ「グッドフェローシップ」を誇りとして

東10番 189Y、Par 3、池と大きなバンカーが口をあけて待ち受ける

霞ヶ関カンツリー倶楽部
理事 広報委員長 越 正夫 氏

最初に倶楽部の成り立ちを教えてください。

1929年に地元旧家の27代目当主・發智庄平と、アメリカ留学とその後のニューヨーク勤務中にゴルフを覚えた藤田欽哉という、二人の日本ゴルフ界の先達が中心となって創立されました。その志は、社会的地位や肩書きに関係なくメンバー同志が対等の友として、スポーツとしてのゴルフを純粋に楽しむ場をつくるというものであり、創立当初のメンバーには会社経営者、ビジネスマンなどさまざまな経歴を持つ方がいらっしゃいました。1929年に東コースが開場しましたが、その3年後に西コースが開場して弊倶楽部はわが国初の36ホールズを有するゴルフ場となり、1930年代の半ばには千名以上のメンバーを擁するまでに発展しました。

發智庄平氏

以来、日本のゴルフ界をリードする歴史を築いてこられました。

戦後米軍に接収される苦難の時を経て、1957年に30カ国から60名のトップ選手が参加したカナダカップ（現ワールドカップ）を開催しました。「史上最強」と謳われたサム・スニードなど当時のトッププロたちが参戦する中で中村寅吉プロが個人優勝、中村プロと小野光一プロが組んだ日本チームが団体優勝を飾り、その模様が日本で初めてテレビ中継された第5回カナダカップは、わが国のゴルフ熱を一気に高める記念碑的な大会となりました。1971年からは日本ジュニアゴルフ選手権競技の開催を引き受け、宮里藍プロ、石川遼プロ、松山英樹プロなど後に世界に羽ばたくゴルファーたちがここでさまざまなドラマを繰り広げました。個人的には、2年続けてあと一歩のところで優勝を逃し、3年目に悲願を達成した宮里藍プロの涙が思い出深いですね。松山英樹プロが2010年のアジアアマチュアゴルフ選手権を制し、マスターズへの出場権を獲得したことも大変印象に残っています。

来年は東京オリンピックのゴルフ競技の舞台となります。

東コースで競技が行われます。こちらは2016年に改修を行い、それまでの2グリーンを1グリーンに変更し、距離も延長して7，466ヤード・パー71の世界基準のコースへ大改造しました。コースの前身はアリソンバンカーで有名な英国人設計家であるチャールズ・ヒュー・アリソン氏が手掛けたもので、その趣を残しつつフェアウェイやグリーンのうねりを強くするなど、戦略性をより高めています。

アマチュアプレーヤーにはかなり難しそうですね。

逆にアマチュアプレーヤーにとって攻めやすいコースとなっています。多くのホールで300ヤード辺りにバンカーを設けているため、プロならティーショットでバンカーに入れる可能性が高くなりますが、そこまで飛距離を出せないアマチュアプレーヤーなら工夫次第でさまざまな攻め方を楽しめると思います。

西コースの特徴を教えてください。

戦後に名設計家の井上誠一氏が新ホール設計を含む復旧を手掛け、アカマツなどの樹木とバンカーと池が戦略的に配置されています。東西両コースに共通する特徴として、いずれもフラットでほとんど坂がなく、お年を召された方もアクティブにゴルフを楽しめることが挙げられます。

こちらには創立当初から大切にされていることがあるそうですね。

先ほどもお話しした通り、弊倶楽部は皆が対等な友である、いわば「グッドフェローシップ」を創立以来のモットーとしています。この精神が、家族のように親しみ合う、フェアプレー・スピリットを発揚する、コースを我が座敷と心得るという三つの行動規範に表され、1930年創刊の会報誌に掲載されました。その会報誌は通算800号に近づき、今も原稿はすべてメンバーが作成しています。

三つの行動規範に従い、どのようなことが守られているのですか？

ゴルフにビジネスの人間関係を持ち込まないよう、倶楽部内での名刺交換を禁止しています。またスロープレー防止のため、ハーフを回る時間の基準を1時間50分としています。これには1組でも多くの方々にゴルフをお楽しみいただきたい、という思いも込めています。またコースを大切にするために、キャディ用のカートに砂を入れたコップを積み、芝生を削るとプレーヤー自身がそのコップを使って砂を埋めることを励行しています。ドレスコードについては、来場時はジャケット着用を、半ズボンでプレーする際はハイソックスの着用を義務付けています。これらのルールはメンバーが自主的に制定したもので、今の時代厳しいと思われるかもしれませんが、弊倶楽部ではゴルフを愛する人々が昔から大切にしてきたことを尊重したいと考えています。

19番ホールはいかがでしょうか？

霞ヶ関ドレスコード
「好ましい服装/好ましくない服装」より引用

プレーを終えた後、多くのメンバーがクラブハウスでお酒を嗜まれています。そのためほとんどの方が公共の交通機関を利用され、それを知らずに車で来場された新メンバーに「一緒に飲めないじゃないか。今度から電車で来てよ」と注意されることも多いようです（笑）。ちなみに現在のメンバー数は1，800名ほどで、正会員に週日会員や家族会員を合わせると200名近い女性メンバーがいらっしゃいます。

オリンピックでゴルフを行う意義についてどのようにお考えですか？

現在、ゴルフ人口の減少が世界的に懸念されています。オリンピックという地球規模の大会でゴルフが話題になれば、それをきっかけにゴルフに興味を持つ若年層が増えるのではないかと考えています。ゴルフ人口を増やすという大きな目的に貢献できるのは、弊倶楽部にとって大変意義のあることです。

最後にお気に入りのホールを教えてください。

個人的には、東コースでは9番と10番です。521ヤード・パー4の9番ホールは距離がある上、グリーン前に深いバンカーが設けられたとても挑戦しがいのあるホールです。10番は池越えのパー3で、アリソンバンカーがあった以前のレイアウトを踏襲しつつ、大変戦略的なホールに改修しました。写真写りも抜群です。西コースでは井上誠一氏の傑作とされる13番が特に気に入ってます。ここにはクリークがあり、それを越えていくか、それとも迂回するか、決断が迫られるホールです。メンバーと同伴されることがあれば、林間にある弊倶楽部ならではの美しいコースと、戦略的なゴルフをエンジョイしてください。

霞ヶ関カンツリー倶楽部
〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡3398番地
TEL.049-231-2181（代表） FAX.049-231-4528
https://www.kasumigasekicc.or.jp

Pick Up Interview

世代や国境を超えてみんな笑顔の晴れのまち（焼津）へ。

遠洋漁業の基地を持ち、日本有数の冷凍マグロの水揚げ量を誇る水産都市として知られる焼津では今、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてモンゴル国選手団への応援機運が高まっているのだとか。焼津市に生まれ、ふるさとの発展のために市長となった中野弘道さんに、モンゴル国との縁や市の取り組みについて語っていただきました。

〈聞き手〉本誌編集長 小松 宣俊

凍ったミナミマグロを漁船からクレーンで吊り上げて水揚げ

面白かわいい
焼津市長の魚名刺

静岡県焼津市長

なかの ひろみち
中野弘道氏

【プロフィール】
1957年焼津市生まれ　明治大学卒業
衣料品店経営の後、焼津市議会議員と静岡県議会議員をそれぞれ２期務め、2012年より現職（現在２期目）
趣味はスポーツ観戦
【焼津市ホームページ】http://www.city.yaizu.lg.jp/

東京と名古屋の真ん中

わが焼津市は静岡県の中央部に広がる海沿いの人口約十四万人のまちで、東京と名古屋のちょうど真ん中に位置しています。東京から西へおよそ１９３キロメートル、名古屋から東へ約１７３キロメートルの所にあり、ＪＲ東海道本線や東名高速道路を利用して、どちらにもスムーズに移動できるアクセスの良さが自慢です。

温暖な気候も焼津市の大きな特徴です。過去10年間の記録をひもとくと毎年晴れの日が３００日強もあり、雨の日が少なく、雪が降ることはほとんどありません。さらに四季折々、さまざまな姿を見せる富士山を眺められるのも焼津市ならではの魅力です。

水産都市焼津市には、日本一の水揚げ金額の焼津港をはじめ、小川港、大井川港の３つの港があります。３つの港にはそれぞれ特色があり、ちがう魚種が水揚げされます。遠洋漁業の基地である焼津港ではマグロやカツオが水揚げされ、小川港では主に近海や沿岸で獲れたアジやサバなどが水揚げされ、大井川港ではシラスやサクラエビが水揚げされています。焼津市が沿岸部において恵まれた漁場を持つのは、駿河湾内に最深部が２，５００メートルにも達する海溝があり、そこに豊富な種類の魚類が生息しているためといわれています。

焼津市公認
マスコットキャラクター
やいちゃん

ミナミマグロを売り出し中

焼津市の名物といえば、やはり水産物です。その中で、最近市で売り出しているのが「焼津ミナミマグロ」です。その名の通り、これは南半球に位置するオーストラリア最南端の都市・ホバート周辺や南インド洋などで漁獲され、焼津漁港に水揚げされる天然ミナミマグロのことで、高級寿司店の人気ネタになっています。南半球の低水温海域を回遊するマグロの身はとても引き締まり、そのため味は濃くて甘く、しかも低カロリーで美容にもいいと言われており、市では現在、ブランド化を進めているところです。

焼津市では基幹産業である水産業のさらなる発展を目指し、焼津市水産振興会という団体を結成して入港から卸売、加工、流通に至る過程の一体化などを目指す取り組みを行なっています。私が会長に就任以後、組織強化を図り、現在市内60以上の企業や団体にご賛同いただき、全国有数の生産地となっているカツオ節のほか、マグロを用いた佃煮、サバを原料とした黒はんぺんなどの特産品の競争力強化に努めています。

これら海の幸に加えて焼津市には農作物の種類も豊富で、中でも「越すに越されぬ」でおなじみの大井川の伏流水で育つコメのおいしさは絶品です。温暖な気候と豊かな自然に恵まれたわがまちは、おいしいものには事欠かない所です。

モンゴル国のホストタウン

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催がいよいよ来年に迫り、その成功に向けて日本各地でさまざまな取り組みが行われています。

焼津市もその例外ではありません。わがまちはモンゴル国のオリンピック・レスリング競技と3x3（スリー・エックス・スリー）競技、同じくモンゴル国のパラリンピック・陸上競技とテコンドー競技の事前キャンプ地として、市民一体となってモンゴル国の各競技団体を応援しています。焼津市とモンゴル国とのご縁は、静岡県が同国の県と友好協定を結んでいることから始まったものです。市独自の取り組みとしては、数年前から首都・ウランバートル市のチンゲルテイ区と青少年スポーツ交流を行い、昨年8月には同区と交流事業に関する覚書を締結しました。

数あるオリンピック競技の中、レスリング競技を事前キャンプ地としたきっかけは、焼津市出身の松永共広選手が北京オリンピックのレスリング55キロ級で銀メダルを獲得したこと。また、2大会連続でオリンピックに出場し、子供たちの育成も盛んなレスリングの街だからです。また3x3競技、これは3人制バスケットボールのことで、次回のオリンピックから正式種目となりました。焼津市では、まだ「3on3（スリーオンスリー）」と呼ばれていたころから、焼津みなとまつりでの小中学校3on3大会を開催するなど、この競技の振興に30年以上力を入れており、2018年には市に「焼津GRユナイテッド」というプロチームも誕生しています。

モンゴル国を視察訪問する焼津市長

モンゴル国パラリンピック支援も、市内に静岡福祉大学があり、障害者スポーツ支援の礎があったからです。もちろんオリンピックとパラリンピックが成功裏に終わった後も、モンゴル国の人たちとの交流をさらに幅広く深めていくつもりです。

モンゴル国の人たちは家族

視察などのために、これまでにモンゴル国を幾度も訪問するうちに強く感じたのは、同国の人たちはみんな人柄が良い人ということで、人情味あふれる焼津市民との相性の良さを実感しています。

モンゴル国の人たちと交わるたびに、彼ら彼女らの心には、日本人が忘れてしまった美徳が残されていることに気付かされます。モンゴル国の人たちはみんなで支え合い、助け合い、ともに成長しようという気持ちを大切にしています。例えばモンゴル国の先生は朝学校に行くと、授業の前に子どもたちとドッジボールなどをします。そうした遊びを通して児童生徒同士の交流を深め、子どもたちに相互扶助の精神を養わせるとともに、教師としての自分の成長度合いも確認するのです。一方、日本の先生は激務のためすぐに授業を開始し、子どもたちと一緒に遊ぶことはあまりできていないように思えます。

モンゴル国の先生たちは、日本の教育の在り方を積極的に学ぼうとしています。それは意味のあることと思いますが、その一方で、日本の先生たちがモンゴル国の教育の在り方の基本を教わることも多いと思うのです。今後焼津市では、両国の先生同士が意見交換を行える機会をつくっていきたいと考えています。

また、モンゴル国の人たちは自分の親と家族を何よりも大切にします。日本に必要とされる、高齢者が住み馴れた地域で自分らしい人生を全うする社会の実現のために、日本のよき昔を思い出し、改めてつくり出すために、モンゴル国の人たちの心を学ぶことが重要と考えています。

モンゴル国の人たちと話をしていると、よく蒙古斑の話になります。子どものころはお互いに尻が青かったという、この共通点は、同じ人種、血がつながっている家族である証と思っており、心をひとつにいつまでも親しく、寄りそって、支えあっていく、いい関係にしていきたいと思っております。

人口社会増減をプラスに

さまざまな人が支え合い、誰もが心豊かに暮らせる地域社会の再興を目指して、焼津市ではいくつもの取り組みを行なっています。例えば、国が進める「地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）」の一環として高齢者の方を対象とした買い物支援などを行い、各地域の方々から大変な好評をいただいています。また、以前は各地域の自治会で行われていた河川などの清掃作業のサポートを、さまざまな団体の協力を得て行っています。

ところで、これからの地域社会づくりにはその担い手となる若い世代、具体的には40代前の人たちの存在が欠かせません。そういった世代の転入を増やすために、焼津市では2015年より「Get！ヤイヅ230（2017年からは「Get！ヤイヅ230ワイド」）」と名付けた若者世帯定住支援奨励金制度を実施しています。市内に家を建てて子育てをすると最大230万円の奨励金を交付するこの制度は大きな反響を呼び、焼津市では2011年の東日本大震災以降、しばらくマイナス傾向にあった人口の社会増減を昨年度、ついにプラスに転じさせることに成功しました。若者世帯の定住促進対策としてはいわゆる「婚活」支援も行っていて、これまでに目標を上回るカップルを誕生させています。

最大120万円
土地・住宅取得の補助制度があるよ！
焼津市土地区画整理事業地区内
分譲宅地好評販売中
建築条件・仲介手数料なし
快適で住みよいまち 焼津市南部地区／会下ノ島 石津地区
問合先 焼津市区画整理課 054（626）2167
焼津市土地区画整理事務所 054（627）9413

新元気世代にも期待

転入者数から転出者数を差し引いた社会増減はプラスになったものの、出生数と死亡数の差による自然増減はいまだマイナスのままです。このため、より効果的な少子化対策と子育て支援が必要と考え、18歳までの医療費助成や家事援助などのサポートに加え、乳児家庭全戸訪問事業を行なっています。これは保健師が赤ちゃんのいる家庭を一軒一軒回り、発育状況などをチェックするという取り組みです。昔であれば家族や親族、あるいは地域の人たちが赤ちゃんの世話をしていたので、もし乳児に何かがあればすぐに気付くことができました。しかし、両親ともに一人っ子が多い現在では家族や親族の数が最小限に限られ、さらに地域との交流も希薄となればいざというときに頼れる人がいません。すると安心して子育てができず、こういったことが経済的な理由とともに少子化の一因となっているのです。

今後若い世代の定住がさらに増え、地域の担い手の層がより一層厚くなれば、地域のことは自分たちで解決しようという機運が高まるかもしれません。そうすれば子育て環境が改善され、また若い世代が増えることから、少子化に一定の歯止めをかけられるかもしれないと考えています。

豊かな地域社会づくりのために期待を寄せているのは、若い世代だけにとどまりません。焼津市では概ね50歳以上の方々を「焼津市新元気世代」と名付け、その方たちにいつまでも生き生きと自分らしく過ごしていただくために「新元気世代プロジェクト」を発足し、文化活動への参加啓発や活躍の場の提供などを段階的に進めているところです。経験も知識も知恵も豊富な世代が若い世代と出会うことで、まちにさらなる活力が生まれることを期待しています。

市民防災リーダーを育成

誰もが安心して暮らせる地域社会を築くためには、防災対策の強化も不可欠です。焼津市では1995年の阪神・淡路大震災の発生を機に、地震や津波に対する防災まちづくり計画を静岡県内でいち早く進めてきました。その中で特に力を入れているのが市民防災リーダーの育成です。

市民防災リーダーとは、消防活動の中心となるとともに、地域住民の防災意識の向上に努める人のことです。焼津市では市内各地域の新たな地域防災指導員を養成するために、全8回のカリキュラムによる「市民防災リーダー育成講座」を毎年行っています。この地道な取り組みの成果として、防災訓練へ約5万人という多くの市民の参加（ほぼ全世帯の数）を実現しています。

いつ起こるか分からない自然災害に備えて、焼津市では、防災訓練を年3回実施するなど、ソフト対策はもとより、各自治会の防災組織の充実、また各地域への防災機器の充実及び、高波対策やいざという時の津波対策に通じる粘り強い構造の海岸堤防の整備を進めるなどハード対策の充実にも力を入れています。

決める覚悟の仕事

わたしは2012年に焼津市長を拝命し、現在2期目を務めています。その前は静岡県議会議員と焼津市議会議員をそれぞれ2期務めました。もともとは市内の商店街で衣料品店を経営していたのですが、わがまちのさらなる発展のために自ら汗をかこうと決意して政治の世界に飛び込みました。余談ですが、わたしの店を大きくすることができませんでしたので、ビジネスの才覚がなかったのでしょうね。

これまで7年に及ぶ市長職では、いろいろなことを経験してきました。その経験を通して実感したのは、この仕事は決める覚悟の仕事ということです。施策を決定し、遂行しようとすると、どうしても反対の声があるものです。その中には、これまでお世話になった人がいる場合があります。もちろん私情を挟むことは許されず、広く市民の未来のためになると心した施策は、その実現に向けて全力で進んでいかなければなりません。

その反対にうれしいと思うのは、施策の実現を市民の方に喜んでもらえたときです。これまでに最も印象に残っているのは、18歳までの医療費、入院費、通院費無料化を実現したときのことです。お子さんが大きなケガをしたり大病を患うと大金が必要となり、家計に大きな打撃をもたらします。その心配を解消してくれたと多くの市民の方から感謝の声をいただいたことは、今もわたしの心の支えとなっています。

焼津港

花沢の里

焼津海上花火大会

焼津神社大祭（荒祭）

浜当目地区

焼津の言葉は荒い？

わたしの座右の銘は「宝積（ほうじゃく）」です。これは仏教の言葉で、人に奉仕をしながらも、決して見返りを求めない心構えが徳を生むという意味を持っています。お恥ずかしい話ですが、その境地にはまだまだ遠いことを自覚しています。

市長としての自分に点数を付けるとすると、せいぜい29点です。ほとんど赤点ですが、自分なりの得意分野は持っているつもりです。企画力や人付き合いの良さはほかの誰にも負けない自信があり、私のような29点の人間が10人集まれば２９０点ではなく、５千点くらいになるとわたしは強く信じています。一人ひとりが得意分野を武器に他の人を支えることにより、その組織は一気に大きくなるというのがわたしの持論です。

ところで、わたしは家族や親しい人と話をするときは、ふるさとの方言を使っています。その特徴はべらんめえ調で、焼津市の言葉を初めて聞いた人は「怖い」とか「汚い」と思い、ケンカを売られているのではないかと勘違いするかもしれません。何か注意するときはたとえ相手が若い女性であろうとも、

「ばかやろう、危ねえ、下がれ」といった感じです。焼津市の方言がケンカ口調になった理由は、ここが漁師町であったためです。ときに荒れ狂う海の上で魚を追いかける漁師は、まさに命懸けの仕事です。もし船上に危険が生じたとき、「危ないから注意してください」と丁寧に話し掛けていたら、お互いに命を落としてしまうかもしれません。だから早口のきつい口調で、しかも大きな声で、相手の心に刺さるインパクトのある言葉を発しなければならなかったのです。

言葉は美しくありませんが、心根は優しいのが焼津人の特徴です。ケンカ口調はごく普通のことであり、もしひときわ荒い口調で話しているように感じたら、それは何かを教えるためだったり、相手に何らかの注意を促すためだったりと、優しい心遣いの表れと思ってください。もし焼津市に来て、方言で話しかけられても決して怖がらないでください。わたしをはじめ、焼津人はみんな心優しい人たちばかりですから。

ピンポイントの情報発信

焼津市が今後の課題として重視しているのが、情報発信の在り方です。これまで市では、チラシを何枚刷るとか広報誌を何部印刷するとか、インターネット上にフェイスブックを立ち上げるといったような、「つくる」ことにしか気を配ってきませんでした。そのため、「どんな人がどこで、どのような形で情報を入手して、どういった反応を示したのか」について調べる、いわゆる情報市場調査に予算を多く費やすという考え方は少なかったかもしれません。

情報はただ発信するだけでは意味がなく、それを効率的に発信して初めて効果が得られるものです。そのためには誰に、どのような形でどのような情報を発信すればよいのかを熟慮しなければならず、そのためには相手について詳しく知ること、つまり情報市場分析が重要となります。

スマートフォンが爆発的に普及した昨今、相手の数も飛躍的に増加しています。例えば焼津市の地域おこし協力隊に「釣りガール」と呼ばれる女性がいて、その釣果を発信するツイッターには海外からのものを含めて、常時10万を超え、最高５００万回のプレビュー数を記録しています。つまり、焼津市に何らかの関心を持つ相手が全世界に多数存在し、その人たちのニーズをＩＣＴ（情報通信技術）を駆使して分析すれば、焼津市のファンを飛躍的にさらに増やすことも決して不可能ではないのです。焼津市では来年のオリンピック・パラリンピックの開催を契機に、情報発信の在り方を予算の組み方を踏まえて再考する予定です。

一年中楽しいまち、焼津

焼津市の観光のベストシーズンは一年中です。先ほどもお話しした通り、わがまちは四季を通して温暖で雨も少ないので、いつお越しになっても楽しく過ごせます。もちろん観光スポットも多彩です。約60店舗が集まる「焼津さかなセンター」では旬の魚に舌鼓を打つことができ、市内各所にある佃煮など水産加工品の直売店も観光客の方に大人気で、年間約１８０万人のお客様を迎えております。また富士山のビューポイントも市内の随所にあり、一日中動き回った後は黒潮温泉で疲れを癒すのも素敵です。文学好きな方には「焼津小泉八雲記念館」がお薦めです。

このようにお楽しみが盛りだくさんの焼津市は、きっとあらゆる世代の方に気に入っていただけるものと自負しています。年末年始のお休みにどこに行くかまだ決めていない方は、ぜひ焼津市にお越しください。本物の海の食と豊かな自然、そして人情味あふれる漁師町ならではのホスピタリティで、皆さまをおもてなしします。

ING 読者プレゼント

焼津ミナミマグロの冷凍ブロック〈中トロ付き〉
（5,000円相当）

5名様にプレゼント

Web版読者の方は
ご応募いただけません

中小企業の皆様、防災・減災対策を始めましょう!

中小企業庁 企画課 経営安定対策室 係長（防災担当）　新井 和樹 氏

2019（令和元）年7月16日、中小企業の防災・減災への取組を促進することを目的に、「中小企業の事業活動の継続に資するための中小企業等経営強化法等の一部を改正する法律（以下「中小企業強靱化法」）」が施行されました。本編では、同法が施行されたことに伴い創設した「事業継続力強化計画」の制度の概要を中心に、法律の内容をご紹介します。

中小企業強靱化法の成立の背景

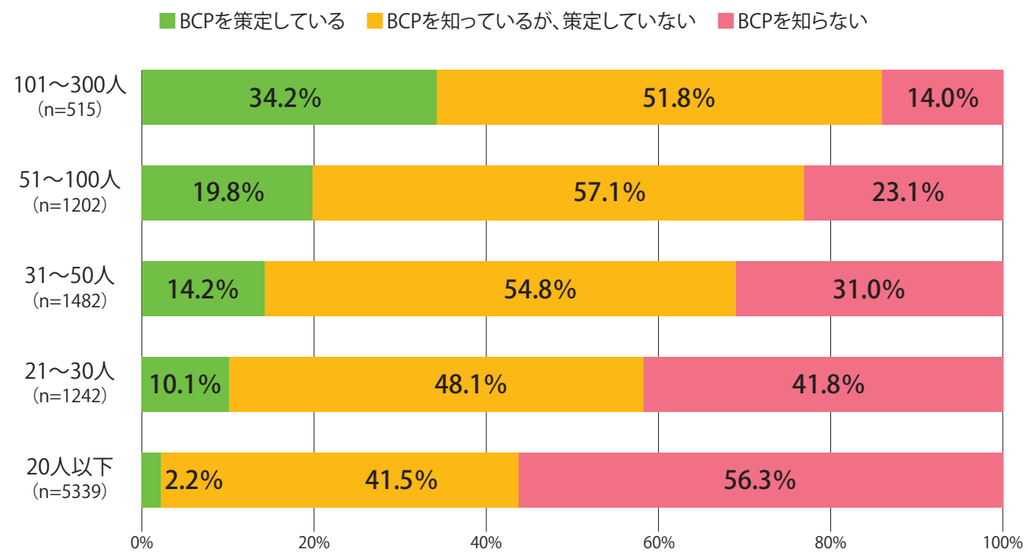
近年は、豪雨災害等の大規模な自然災害が全国各地で頻発しています。先日、日本列島を襲った台風第19号や第21号等で多くの中小企業者に深刻な被害をもたらしました。多くの企業が自然災害に対する十分な備えがないまま被災し、深刻なダメージを受けているのが現状です。中小企業の防災・減災対策が進んでいない理由として、「何から始めればいいかわからない」、「ハードルが高い」、「明日の売上げが優先」等の意見が調査の結果として出ています。実際に、BCP（事業継続計画）の策定率は小規模事業者で2.2%と進んでいないのが現状です。

そこで中小企業庁では、中小企業の自然災害への事前対策を普及することを目的に、第198回通常国会に中小企業強靱化法を提出し、7月16日に施行いたしました。本法に基づき、防災・減災対策に取り組む中小企業が、その取組を「事業継続力強化計画」としてまとめ申請し、経済産業大臣が認定します。事業継続力強化計画の申請書の様式は、A4の紙4～5枚程度の簡易なものとなっております。

事業継続力強化計画の認定を受けた企業は、①政府金融機関の低利融資、②信用保証枠の拡大、③防災・減災設備投資に係る税制優遇（20%の特別償却）、④経済産業省で執行する一部の補助金において、加点措置による優先採択等の優遇支援策が利用できます。また、⑤経済産業省が認定したロゴマークを使用することができ、名刺やリクルートパンフレット等に記載することが可能になり、事業継続力の強化に取り組んでいることを対外的にPRすることができます。

事業継続力強化計画の制度を創設して3ヶ月が過ぎ、既に約3,600者の中小企業者に認定を取得いただいております。

従業員規模別に見たBCPの策定状況



（出所）三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株）「中小企業の災害対応に関する調査」（2018年12月）

事業継続力強化計画認定制度の概要

- 中小企業が行う**防災・減災の事前対策に関する計画**を**経済産業大臣が認定**。
- 認定を受けた中小企業は、**税制優遇**や**補助金の加点**などの支援策を活用可能。

【計画認定のスキーム】

中小企業・小規模事業者

連携して計画を実施する場合：大企業や経済団体等の連携者

①計画を策定し申請 ↓　↑ ②認定

経済産業大臣（地方経済産業局）

認定対象事業者

- 防災・減災に取り組む中小企業・小規模事業者の皆様。

事業継続力強化計画の記載項目

- 事業継続力強化に取り組む目的の明確化。
- ハザードマップ等を活用した、自社拠点の自然災害リスク認識と被害想定策定。
- 発災時の初動対応手順（安否確認、被害の確認・発信手順等）策定。
- ヒト、モノ、カネ、情報を災害から守るための具体的な対策。
  ※自社にとって必要で、取り組みを始めることができる項目について記載。
- 計画の推進体制（経営層のコミットメント）。
- 訓練実施、計画の見直し等、取組の実効性を確保する取組。
- (連携をして取り組む場合)連携の体制と取組、取組に向けた関係社の合意。

認定を受けた企業に対する支援策

- 低利融資、信用保証枠の拡大等の**金融支援**
- 防災・減災設備に対する**税制措置**
- **補助金**（ものづくり補助金等）の優先採択
- 連携をいただける企業や地方自治体等からの支援措置
- **中小企業庁HP**での認定を受けた**企業の公表**
- 認定企業にご活用いただける**ロゴマーク**
  （会社案内や名刺で認定のPRが可能）

令和元年度 事業継続力強化計画 認定 経済産業省

中小企業強靭化法の特徴について

今回の法律改正において、一つ目の特徴は、事業継続力強化計画が、従来のBCPよりも簡潔な内容となっており、取り組むハードルは低くなっています。従来のBCPは、災害復旧に関する事項を「体系・網羅的」に定めるものであり、中小企業者にとって、大きな負担を感じてしまう傾向にありましたが、事業継続力強化計画では、各々の企業にとって真に必要である最低限の取組のみ記載する内容となっています。

二つ目の特徴として、単独で防災・減災に取り組む中小企業が策定する「事業継続力強化計画」と、複数の中小企業が連携して防災・減災の計画を策定する「連携事業継続力強化計画」の認定制度を創設した点です。

連携事業継続力強化計画は大きく分けて3つの種類があり、①サプライチェーンのような縦の連携、②広域の同業種組合による横の連携、③工業団地や商店街のような面の連携が想定されます。連携事業継続力強化計画は、各々の事業者が役割を分担することで、単独では取組が難しい事業者であっても取り組みやすいものとなっております。

三つ目の大きな特徴は、中小企業を取り巻く関係者（商工団体、サプライチェーンの親事業者、損害保険会社等）が中小企業の取組を支援する環境を整備することを法律に明記した点です。具体的には、中小企業強靭化法によって定めた「基本方針」に各々の関係者に期待される具体的な取組を明記し、取り巻く関係者に中小企業の事業継続力の強化を後押ししていただくことを明示しました。

加えて、今回の法改正においては、商工団体と基礎自治体が連携し、中小企業者の防災・減災支援を行う「事業継続力強化支援計画」を共同策定し、都道府県知事が認定する仕組みも立ち上げており、取り巻く関係者が一体となって中小企業を支援します。

■

事業継続力強化計画に記載する事項

次に事業継続力強化計画の認定に必要な記載事項を紹介します。同計画には従来のBCPの重要なエッセンスのみを抽出し、中小企業が、防災・減災対策の“第一歩”として取り組むための項目のみを盛り込みます。よって、BCPから重要業務の特定、復旧時間の目安等という要素は取り除いたものとなります。これは、防災・減災への取組にまず着手していただくため、BCP策定に至る、言わば「入口」に該当するものです。

事業継続力強化計画の認定に必要な具体的な記載事項は、

- 目的の明確化
- 災害時における従業員の避難・安否確認等の初動対応
- ハザードマップ等を活用したリスク認識及び、その災害によって自社事業にもたらされる影響
- 人員・設備・資金繰り・情報保全などで必要な対策の検討
- 従業員への訓練や計画の見直し等の実効性の確保

などです。詳細は中小企業庁HP（次頁末に記載）掲載の「事業継続力強化計画策定の手引き」をご参照ください。

■

とても大切なリスクファイナンス

事業継続力の強化にあたり、事業者の皆様に改めて見直していただきたいのがリスクファイナンス対策、すなわち損害保険への加入についてです。三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が実施した調査では、「約8割の中小企業が自然災害に対応する何らかの保険・共済について加入している」一方、「自身が加入している保険・共済について、約2～3割の中小企業者が補償内容を把握していない」という結果が出ています。つまり、実際に災害が起きた際に、自社の被害の内、どこまでが補償範囲となるのかを把握しておらず、あてにしていた保険金が入ってこないケースが非常に多くあるのです。

例えば、取引先から預かっている原材料等（中間材）が大雨で浸水してしまったケースが挙げられます。中間財については、事業所内で浸水してしまった場合は補償の対象となる一方、事業所外の倉庫に保管していたものが浸水してしまった場合は補償の対象とならない場合も少なくありません。このように、自社事業の特性を踏まえた上で正しい保険プランに加入することが非常に大切です。既に損害保険に加入されている事業者の方々におかれましては、是非、加入しているプラン内容を再確認し、正しいプランへの加入を検討してみては如何でしょうか。

■

平時からも有効活用

事業継続力強化計画に記載する取組は、有事の際のみならず、平時からも役に立つケースがあります。

例えば、同業他社との「代替生産協定の締結」です。代替生産協定は、協定を結んでいる事業者が被災した際に、協定先の事業者において代替生産を実施することを約束し、サプライチェーンを維持することを目的とします。一方、被災していない場合においても、例えば季節によって大幅に生産数が変わってくる商品を扱う事業者の場合、繁忙期において生産ラインを増設するのではなく、代替生産協定により事業者の稼働していないラインを活用して、商品の生産を実施する等、柔軟に生産数の増減に対応できるケース等においても使うことができます。

また、「職員の多能工化」も平時から有効活用できるメリットの一つです。災害時など有事の際に出勤できない職員がいた際に、その職員しかできない仕事があれば、事業を停止せざるを得ないという事態を予防できますが、災害が起きていない時でも、例えば職員が体調不良等で突発的に欠勤となった際、多能工化を実施していれば、他人員により事業の継続が可能となります。

このように事業継続力強化計画を用いて防災・減災対策について取組を検討することは、災害時だけでなく平時にも有効に利用ができ、かつ業績向上に繋がる可能性も秘めているのです。中小企業庁では、今後、こういった取組の事例も収集したいと考えております。

■

簡易な取組でも防災・減災対策は可能！

事業継続力強化計画にこだわらず、簡易に実行できる有効な取組というのも先行事例として存在します。例えば配電盤を高所に設置するというのもその一つです。ある生花店の事例ですが、この生花店は立地上、洪水で浸水しやすい場所に店舗があり、過去三度の浸水を経験しました。一回目の浸水時には配電盤が水没し、営業を再開するまで数ヶ月も要しました。そこで被災経験を生かし、配電盤を高所に移転する工事を行ったところ、二回目以降の浸水時には、配電盤は浸水せず、店内の水や泥を掻き出す等の清掃作業のみで、数日後には営業を再開しました。少しの工夫で減災出来た良事例といえます。

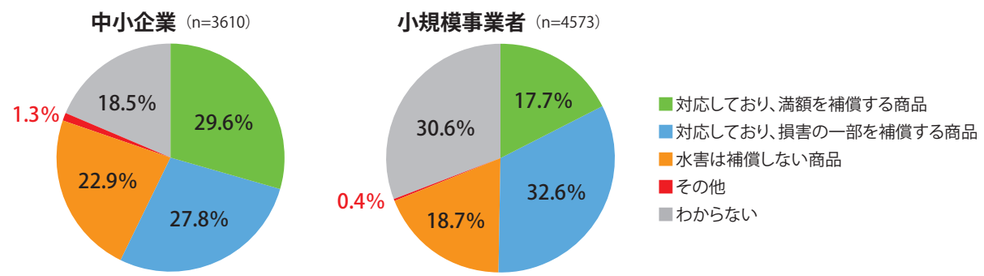
■

今後の課題

今後、高い確率で首都直下型地震や南海トラフ地震が起こると推測されています。日本の企業の約99％を占め、地域経済を支えている中小企業の皆様には、事業を継続していただく重要な社会的使命があります。中小企業庁としても、今後はより皆様の防災・減災対策の支援に尽力し、優良事例等については広く発信していきたいと考えております。

防災・減災対策に取り組めていない中小企業の皆様、事業継続力強化計画をきっかけに、防災・減災への取組の一歩目を踏み出してみませんか。

水災補償への加入状況



（出所）三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株）「中小企業の災害対応に関する調査」（2018年12月）

中小企業庁
〒100-8912
東京都千代田区霞が関一丁目3番1号
電話：03-3501-1511（代表）

参考：中小企業庁 ホームページ
https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/bousai/keizokuryoku.htm

※1：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）略してSDGsとは、世界が2030年までに達成すべき17分野の国際目標として世界193か国が合意し、2015年9月の国連サミットで採択されました。「No one will be left behind.（誰一人取り残さない）」をスローガンに、地球環境や気候変動に配慮しながら持続可能な暮らしや社会を営むための指針です。世界中の人が目指す理想の未来社会を実現するためのSDGsへの取り組みは、現代社会に危機感を抱いている人（投資家、ミレニアル世代）ほど、理念を現実に変えるチャンス、ビジネスの新しいあり方、未来社会の骨格、中長期的経済成長戦略と視て指標としている。また、最近はどの企業もSDGsに取り組んでいるため、取り組まないことは自体がリスクになりつつある。

※2：液体状の飼料。欧州では乳清やウイスキー粕などを飼料として活用することが一般的。

※3：環境に優しい（ecological）や節約する（economical）などを意味するエコ（eco）と、飼料を意味するフィード（feed）を併せた言葉で、食品廃棄物を利用して製造された家畜用飼料のこと。

※4：飼料や肥料、エネルギーを自給し、販売も自ら行うことで、生産と消費を直結させ、収益性の高い持続可能な農業モデルの構築を目指す。

『食品ロス』という社会課題解決とビジネスを両立し、「もったいない」の先へ

食品ロス問題解決の先駆けとして、産学官連携で開発した養豚用のリキッド発酵飼料をもとに飼料製造業と廃棄物処理業の2つの側面を持つ新たなビジネスモデルを構築し「リサイクル・ループ（循環型社会）」を実現。ニューヨークの国連本部やG7ワークショップでも紹介され、第2回「ジャパンSDGsアワード」で内閣総理大臣賞を受賞し、SDGsのモデル事業と注目されている株式会社日本フードエコロジーセンターの代表取締役の髙橋巧一氏にその取り組みについて伺いました。

日本フードエコロジーセンター（以下J.FEC）は、何をしている会社ですか？

「『食品ロス』に、新たな価値を。」というコンセプトで、食品工場の製造ロスや、スーパー・コンビニなどの小売店で発生する売れ残りなどの食品廃棄物をきちんとリサイクルし、ゴミ処理の問題と畜産経営の問題の解決によって、社会の中に食の循環を構築することを理念・使命として取り組んでいる食品リサイクル会社です。

どういった経緯で開業に至ったのですか？

私は獣医師を目指すと同時に、学生時代からライフワークとしていろいろなNGO、NPOの中で環境問題に関するボランティア活動を精力的に行っておりました。当時から近い将来、世界的な人口増加を背景に穀物相場が高騰し、畜産農家にとってコストの大半を占める家畜の飼料を輸入穀物に依存することで、経営がひっ迫していくと、盛んにいわれていました。また、食品ロス問題は大きな社会問題と認識したうえで、獣医師として、安全性、品質、コストダウンできる飼料を食品廃棄物から開発することによって世の中に貢献できるのではないかとSDGs※1的な取り組みをしようと考えていました。

1998年に農水省が未利用資源の飼料化の推進事業をはじめたときに、安全性の確保とコストが2大課題でした。農水省のワーキンググループの委員となった私は「ヨーロッパではリキッドフィーディング※2をやっている。日本では古来より、水分が多い漬物、納豆などで発酵という技術を使っている。発酵で保存の効く餌を作れるのではないか」と提案し、その実証試験をするために約5年間国の補助を受け、農水省の研究機関と大学の先生方と共同で、試行錯誤しつつも試験・研究を進め、コストダウンを図りながら安全性を確保できる「食品残さを活用した発酵リキッドフィーディングの開発」で、2008年に第6回産学官連携功労者表彰農林水産大臣賞をいただきました。

2018年12月 第2回「ジャパンSDGsアワード」にて最優秀賞受賞（7つのSDGsに貢献）

事業としては、2001年に「食品リサイクル法」が施行されたのを機に、小田急グループとしてこの取り組みを進化させていきたいとのお話をいただきました。グループ内にリサイクルセンター施設を作った方が実際の食品廃棄物問題だけでなく、会社としてのCSR（企業の社会的責任）への取り組みにもなり得ると考え、2005年10月に小田急フードエコロジーセンターとして開設。2013年10月に事業の効率的な推進を目指し、会社分割を行い、株式会社日本フードエコロジーセンターとして開業しました。

日本では現在どれくらいの食べものが捨てられているのですか？

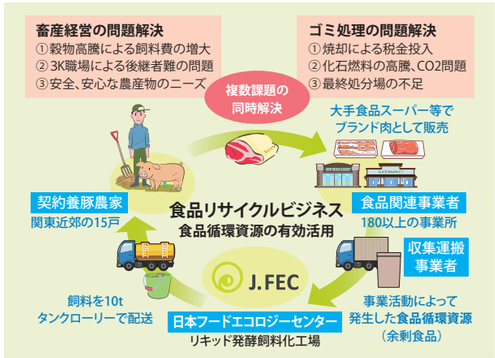
年間で約2,000万トン（東京ドーム16個分）の食べものが捨てられています。さらに、その3分の1は、本来まだ食べられるにも拘わらず捨てられてしまう食べもので、これが『食品ロス』です。

捨てられた食べものは、燃えるごみとして焼却炉で燃やされます。たいへんもったいない話ですが、もったいないだけで終わる話ではないのです。食品ロス問題の背景に何があるのか？ 少なくともこれだけは知っておいていただきたいことは、1トン燃やすために約4～5万円のコストがかかりますが、その多くが税金で賄われています。全国の自治体がゴミ処理費として毎年2兆円を費やしている。焼却炉で燃やされているうちの約半分が食品です。ということは、我々の税金8千億円～1兆円を毎年使って、食品を燃やしているのです。

また全国的にみても、自治体は処理費を事業者から安く取って、その分税金を費やしているため、予算の制約でリサイクル施設が全国にできない。要するに、施設を作っても儲からないというところが、リサイクル施設ができない一番大きな要因なのです。私は国の食品リサイクル法審議会の委員として、現場の声を届け、変えていこうとしています。

新たな価値を創出されていることについて、詳しく教えてください。

J.FECの事業というのは、税金を使って処理している食品廃棄物を、税金を使わずに食品会社がコストダウンしながらリサイクルができる。畜産農家も、輸入穀物と比べると安価な飼料を買うことができ、持続性の高い農業をつくりだすことができる。J.FECは、食品会社からは原料とお金をいただき、安全・安価なリキッド発酵飼料を製造し、畜産農家からはその飼料をご購入いただき、両方からお金をいただくかたちのため、安定的な雇用を創りだすことができる。なおかつ税金も減らすことができる。J.FECの事業が回ることによって環境社会、循環型社会の構築に貢献ができる「三方よし」ですね。これが本来の環境のビジネスだと私は思っています。



現在1日35トン（年間12,000トン）。年々少しずつ増加）の食品循環資源を受け入れ、42トンのエコフィード※3を製造。工場は2006年頃から1日も休まず稼働しています。さらに大手食品スーパーなどで、エコフィードで育った高付加価値のブランド豚肉（優とん、旨香豚）として販売し、食品リサイクル・ループを構築しています。

本社のある工場は、ぬかみそのような少し酸っぱい発酵の良い香りがしていました。工場見学には、小学生、修学旅行生、企業や自治体など、地方や海外からの視察の方々まで毎日のようにいらっしゃっていて、注目度が高いですね。ところで、2019年10月から「食品ロス削減推進法」が施行されました。

食品メーカーを中心に、食品ロス発生抑制にはきちんと取り組まれていると思います。ただ当然どんな業種業界でも、生産があれば必ずロスというのは出ます。これまで焼却炉へ直行だったものを、少なくともリサイクルしようという風潮になって、ますますリサイクルするものは増えていくでしょう。実際J.FECへの問い合わせも増えています。現在全国的にリサイクル施設が足りない状況で、これをいかにして増やしていくのか。資源の少ない日本では、少なくとも単純焼却ではなく、飼料化やメタン発酵させてエネルギー化を進めていくことが、求められると思っています。日本は元々技術がある国。アイデアや技術力をアップさせて、法律や規制できちんと良い方向へ施策を作っていくことによって、収益性が出るマーケットができあがってくれば、リサイクルも進んでいく。そのためには現場からどんどん提言をしていかないと変わっていかないと思っています。

今後のビジョンを教えてください。

これまでの取り組みを続けつつ、新しい試みとしては、2年後に「サステナブルファーム※4」を開設予定です。これまで同様J.FECで新たなビジネスモデルを作っていきます。

今特に若い世代には、社会課題を解決していくことが、自分の人生設計の中でやっていきたいこと、と考えている人がたくさんいる。これらの意識の高い人たちがやりがいをもって働ける、自分の夢を実現していく取り組みをする場所を作っていきたい。GDPなどの経済指標と大量生産と効率UPで「お金だけ」というものではなくて、世の中が良い方向へ、人間が幸せになる方向へ、経済活動をSDGsのいろいろなベクトルへ持っていくんだといったところが根底にあります。ですから、ただのイメージ戦略には留まらず、企業の根幹に関わるいくつもの部署が、SDGsの複数の目標へと同時に取り組むよう考えていかないといけないのです。

小5（10歳）のときの作文で「獣医師の免許を取って環境保護に取り組む」と書きました。やりたいことに向かって突き進んでいます（笑）。

［取材・文］本誌編集 吉田安希

J.FEC
株式会社 日本フードエコロジーセンター
代表取締役（獣医師）
髙橋（たかはし） 巧一（こういち） 氏
株式会社 日本フードエコロジーセンター
〒252-0245 神奈川県相模原市中央区田名塩田1-17-13
TEL：042-777-6316（代表） FAX：042-777-6317
http://japan-fec.co.jp/

2017年7月 ニューヨークの国連本部で開催の「ハイレベル政治フォーラム」にてスピーチを行う

金大中さんなら今の日韓関係をなんと思うだろうか

NHK BSプレミアムの『アナザーストーリーズ 運命の分岐点』という番組のスタッフが4人も房総半島の僕の家にやって来た。プロデューサーとディレクターにカメラマンが二人。1973年8月8日の白昼に東京のホテルで発生した金大中（キムデジュン）拉致事件の現場に最初に駆け付けた記者が、46年後に房総で田舎暮らしをしているのに興味を持ったらしい。

僕のミュアヘッドフィールズ土太郎村の土壁の家の外からカメラを回して家の中に入る。採蜜したばかりの蜂蜜を紅茶に入れる姿まで撮影して、それから2時間半のインタビュー。

「すぐ九段下のホテルグランドパレスに行ってくれ。韓国の有力な政治家がいなくなったらしいと、毎日新聞の警視庁クラブのキャップか誰かに言われて捜査1課担当だったケンちゃん（中島健一郎）は桜田門の警視庁を飛び出したんです。暑い日だったなー。タクシーを拾ってね。ホテルの22階へ行くと、まだ非常線も張られていなくて、交番のお巡りさんかなんか一人うろうろ。現場の部屋を覗いたりしました」。

「ケンちゃんは金大中さんがどんな人か知っていましたか」。「いえいえ。後で朴正熙（パクチョンヒ）韓国第八代大統領と選挙でほぼ互角に戦い、その後、民主化運動を米国や日本で展開している人と知りました」。

こんな具合にインタビューは様々な角度から延々と続いた。取材する側からされる側になって、しかもカメラが回っているのは奇妙な感じだった。でも思い出せることは全て語り尽くした。

6月4日午後9時から『アナザーストーリーズ』の番組が始まった。1時間の放送のうち20分くらいケンちゃんが登場。前夜に宿泊した畑中金次郎（その後、遺留指紋から在日韓国大使館等書記官で韓国中央情報部員と判明）に呼ばれたマッサージ師の単独インタビューに成功したことなどが放送された。「枕元の電気だけ。首は太くがっちり。」「ゴルフおやりになりますか」と聞くと「やるよ」と答えたけど、あとは無口でした」といった内容。数時間の僕へのインタビューからすれば摘まみ食い。事件発生から5年後に「金大中事件全貌」という本にもなった連載についても、光州事件の首謀者にされて死刑判決を受けたが、米国の助けで1982年12月23日にアメリカに亡命した時、ワシントン特派員だった僕が出迎えたことなどは割愛されてしまった。

Web版読者の方は
ご覧いただけません

金大中氏（毎日新聞社提供）

金大中さんは2年数ヶ月後、祖国の民主化のため帰国を強行し、軟禁される。ワシントンの空港に見送った僕に「これは滞米中、車にぶら下げていました。中島さんにあげます」と手渡ししてくれた十字架。金大中さんはクリスチャンだった。

公民権を回復し、2度の大統領選に敗北するものの1997年の大統領選で当選した不屈の人、金大中さんの持続する情熱に僕はいつも感動するのだった。

ワシントン特派員時代

2003年まで大統領を務めた金大中さんは日本の大衆文化を解禁するなど日韓関係の発展に努め、北朝鮮との関係改善でノーベル平和賞を受賞した。リベラルで現実的理想主義者と思うが、今の悪化する日韓関係をみたら何と言うだろうか。

ともあれさすがNHKの人気番組。放送後、沢山の友人、知人から「見ましたよ。懐かしの事件記者、ケンちゃん。格好良かったですよ」など電話やメールが殺到した。事業担当時代の仲間とは早速、ゴルフをした。朝日新聞の政治部記者だった山下さんは、事件当時に金大中さんのボディーガードをした金君夫さん（現在は銀座にある会社の社長）を土壁の家に連れて来てくれた。現場のホテル、グランドパレスで木村俊夫自民党代議士（元外相）と会うため2212号室を出た金大中さんは2210と2215号室内に連れ込まれた。君夫さんは「先生が時間になってもホテルのロビーに降りてこない、と秘書からの連絡でパニックになりました」と当時を振り返った。最初にケンちゃんが現場に行ったのは、木村代議士が宇都宮徳馬代議士に「金大中さんが現れない」と電話し、宇都宮代議士が金大中さんの秘書らに連絡し異変に気付き、一緒にいた毎日新聞の岩見隆夫記者が連絡をくれたためだった。

金大中さんは麻酔を嗅がされ、緊急配備をかい潜った車で関西に運ばれ、竜金号に乗せられた。そして瀬戸内海で海に沈められようとした時に謎の飛行機が警告し、助かる。番組のスタッフは電話で「飛んで来たのは自衛隊の飛行機？それとも米軍機？」と追加取材。「米諜報機関が日本の諜報部門に知らせて、早く殺すなというメッセージを伝えるため、自衛隊機を飛ばせたのでは。訳も分からず飛んだ自衛隊機は指示通り信号弾を落としたと思います」と僕は答えた。

金大中さんは5日後、ソウルの自宅前で解放された。縛られた傷が痛々しかった。

官房副長官時代の日記を後藤田正晴さんは自白の自宅で僕に読んでくれた。8月31日、警察庁長官が来る。有力な証拠が握れそうだと。9月3日、明朝、長官が田中角栄総理に捜査報告する。金東雲が新聞記者の肩書きで来日、その時の外国人登録の指紋が区役所に残っており、遺留指紋と一致した。日本の主権侵害が裏付けられた。しかし2度の政治決着で真相究明はうやむやになった。

2009年8月18日、金大中さんは83歳の波乱の人生を閉じた。没後10年の日韓関係は最悪。どんどん非難の応酬がエスカレートしている。隣国として切っても切れない関係にある日韓。1998年に小渕恵三首相と日韓共同宣言を発表した金大中さん。拉致事件の経験は日韓関係の構築にも役立っていた。彼のような政治家がいたことを忘れてはならないと思う。

ジャーナリスト
中島 健一郎（なかじま けんいちろう）氏

1944年東京生まれ　東京大学卒業後毎日新聞社に入社。毎日新聞の社会部で警視庁、警察庁、国税庁を担当する他、調査報道を行い、外信部ではワシントン特派員、ワシントン支局長として国際報道に携わる　オウム真理教事件の時の社会部長。英文毎日局長、事業本部長を経て事業担当常務2006年に退任後は大正大学の客員教授を５年間務めた他、房総半島で新しい生き方を追求するミュアヘッドフィールズ土太郎村作りに関わっている

SCOOP

ベトナムのHUNG VUONG社とコノミティが「医療ツーリズム」提携調印式

アジア諸国の富裕層向けインバウンドでおもてなしサービス「医療ツーリズム」。
株式会社コノミティは、ベトナム向け事業拡大のため、現地法人と提携契約に調印した。
またコノミティの現地法人会社を2019年11月ハノイ市に設立の予定だ。

日本の最先端医療は、アジアでは断トツの医療施設および医療技術を誇っている。その医療に熱視線を向けるアジア諸国の富裕層が、日本での検査・治療を希望し、その需要は年々増加している。日本での医療検診と、日本の人気エリアの観光を融合させた、海外からのお客さまへのおもてなしサービス「医療ツーリズム」を手がける株式会社コノミティの海外事業部は、2019年6月に国から「医療ビザ身元保証機関（登録旅行会社）」の登録を受け、中国向けを中心に、インバウンドの「医療ツーリズム」を展開してきた。そしてこのたび、ベトナム向けのインバウンド事業の拡大をめざし、HUNG VUONG社（ベトナム ハノイ市）との間で「医療ツーリズム」に関し提携することとし、2019年9月26日に調印式を開催。HUNG VUONG社会長のディン・スァン・ホアット（DINH・XUAN・HOAT CEO）氏とコノミティ代表取締役の小林伸二氏が提携契約に調印した。

HUNG VUONG社は、資本金1億円、従業員650人で、本社はベトナムの国会議事堂の敷地内にある半官半民企業。レストランやホテルの経営・運営を中心に展開しており、新たな事業の柱として「医療ツーリズム」へ参入した。

また、この事業提携のもとコノミティでは、ベトナムでの本事業の展開を円滑にタイムリーに行うため、同社取締役の小林宏暢氏を社長とする株式会社コノミティベトナムを2019年11月ハノイ市に設立予定である。

マスコミも同席した説明会

ディン・スァン・ホアット会長と小林伸二社長

国会内にあるHUNG VUONG本社

ベトナムの2018年の実質GDP成長率は7.1%であり、2015年～2017年の平均実質GDP成長率においても6.5%と好調で、同時期の日本の平均実質GDP成長率1.3%に比べ、高い経済成長を維持している。現在の人口は9,600万人。平均年齢も31歳と若く、2040年頃には日本とベトナムの人口は逆転し、ますます活気に溢れるであろう。

しかしながら、世界保健機関（WHO）の2018年版統計によると平均寿命に関しては、日本が84歳強で1位であるのに対し、ベトナムは76歳であり世界で55位だ。また、経済発展とともに欧米化の進むベトナムにおいては、高血圧患者は1,200万人、糖尿病患者は300万人以上と推定され、病死による死因の80%は生活習慣病といわれている。

さらに、日本におけるがんの5年生存率は高く、経済協力開発機構（OECD）のデータによると大腸がんの5年生存率（2004～09年）では、加盟国の平均が59.9%のところ、日本は68.1%で1位、アメリカは64.5%で5位である。国際共同研究「CONCORD-2」による肺がんの5年生存率でも、日本は30.1%とトップで、アメリカの18.7%、イギリスの9.6%と比べ、生存率は際立って高く、いかに日本の医療技術が世界の最先端の位置にあるのかを実証している。

また、病気やケガで日本の病院へ入院した外国人の方々から多く寄せられる感想が、「日本の看護師は、こんなことまでしてくれるのか?」との驚きと感動だという。例えば、日本の看護師は状況に応じて、入院患者のベッドメイキング、食事の配膳、患者の身体を拭いたりすることもある。このようなことは欧米やアジアの看護師は行わないそうだ。高水準の医療と、外国人からみると驚くほどホスピタリティが高い看護師がいる日本での「医療ツーリズム」は、そうした口コミを通し、ますます評判を呼びそうだ。

調印に参加した日・ベトナム関係者

現在、ベトナムの政府高官や富裕層は、健康診断や治療目的でシンガポール、アメリカ、ヨーロッパへ行っているそうだが、欧米に比べ日本へのフライト時間は短く、コストの問題や待機時間の長さの問題も比較的少ないため、徐々に日本へとシフトしてきている。すでにコノミティでは中国やベトナムから、幹細胞再生治療（肝硬変などから美容まで、多くの治療で有効）、がん遺伝子検査（がんのリスクの検査。がんの約18%は遺伝的なリスク、約82%が後天的リスクで発症されるといわれている）、内視鏡検査（胃、大腸）などの目的での訪日客を受け入れてきた実績がある。

コノミティでは、HUNG VUONG社との提携で弾みをつけ、経済発展が著しいベトナムのマーケットへ向けて、健康診断をはじめ、セカンドオピニオン、治療、加えて「第4のがん治療」といわれている「免疫治療」まで、個々の希望・状況に応じて、日本の有名医大病院や有名医師のいる病院と提携し、最適な日本の医療施設を紹介する「医療ツーリズム」サービスの拡大へと、今後さらに注力したい考えだ。

お問合せ先

Conomity コノミティ

株式会社 コノミティ 海外事業部
（日本語、ベトナム語、中国語、英語に対応）
〒105-0004 東京都港区新橋5-12-1 越田ビル４階
TEL. 03-6402-4707 FAX. 03-6402-4709
E-mail: medical@conomity.co.jp
http://www.conomity.co.jp/

インフォメーションネットワークグループ機関誌
ING［イング］2019 vol. 20
発行日：2019（令和元）年11月13日　発行元：一般社団法人国際情報普及協会　住所：東京都港区新橋5－12－1 露月町ビル4階　電話番号：03－3434－6203

ALL IN M

TWIST FACE

FAIRWAY WOODS

RESCUE

フェアウェイウッド＆レスキューが新登場。
その全てに「ツイストフェース」を備え、
深低重心化を限界まで追求。
誰もが真っすぐ高く軽々と飛ばせる
稀代のプレミアム、そのフルラインアップが完成。

TWIST FACE

世界が羨む、飛び、やさしさ、美しさ。

M GLOIRE
エム　グローレ

DRIVER

IRONS

詳細はWEBサイトへ　taylormadegolf.jp　©2019 TaylorMade Golf Company, Inc.　TaylorMade